Panasonic

ホームネットワークステーション

取扱説明書

品番　BB-HG2000

このたびは、ホームネットワークステーションをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特　長

インターネットかんたんセットアップ

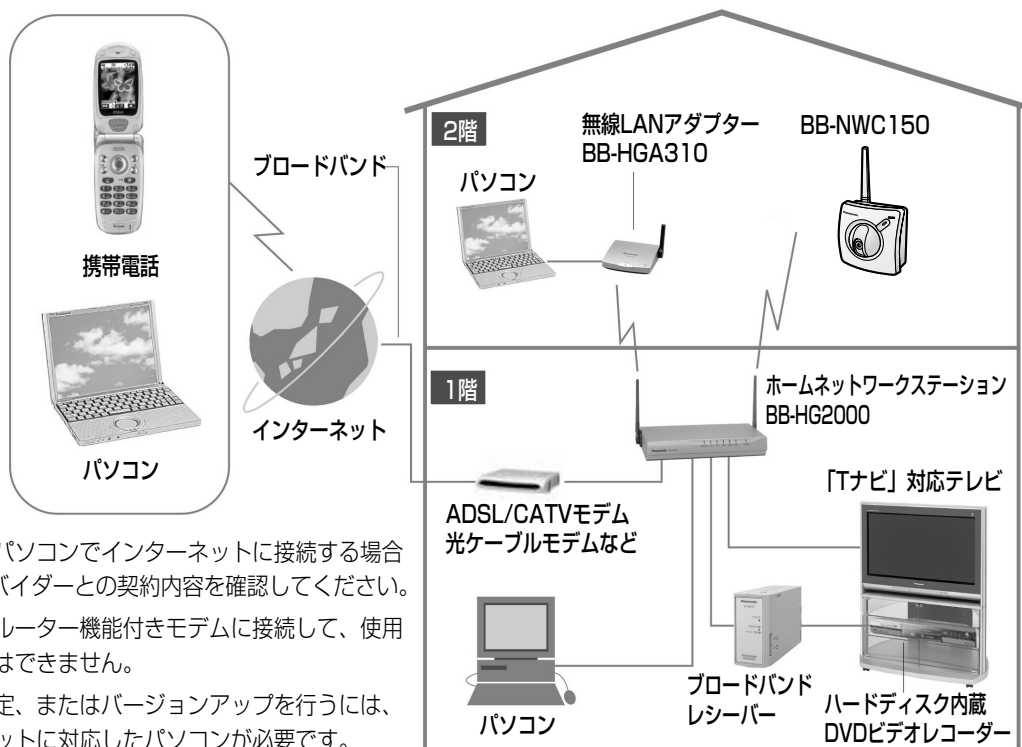
本機には「かんたん設定」機能があります。ウィザードに従うことで、ウェブブラウザで簡単にインターネット接続の設定ができます。特別なソフトのインストールは不要です。フレッツ・ADSL、Yahoo!BBなどのプロバイダーを選択し、ガイダンスに従った簡単な操作で、インターネット接続ができます。

イーサネット対応機器を手軽に無線化

パソコンや「Tナビ」対応テレビ、ブロードバンドレシーバーなどのイーサネットに対応した機器に当社製無線LANアダプター「BB-HGA310」(別売品) を接続することにより、簡単に家庭内ネットワークを無線化できます。

無線自動設定機能（セキュリティ設定含む）

当社製無線LANアダプター「BB-HGA310」(別売品) の各種設定を自動的に行います。その際、無線のセキュリティ設定も自動で行いますので、より確実な無線ネットワークを実現します。

下のイラストのようなネットワークを構築することができます。本機にブロードバンドレシーバーを接続すると、携帯などの端末から家庭内ネットワークにアクセスすることにより、録画予約などをすることができます。

※複数台のパソコンでインターネットに接続する場合は、プロバイダーとの契約内容を確認してください。

※本機は、ルーター機能付きモデムに接続して、使用することはできません。

※本機の設定、またはバージョンアップを行うには、イーサネットに対応したパソコンが必要です。

カメラ自動登録機能（セキュリティ設定含む）

当社製ホームネットワークカメラ「BB-NWC150」(別売品) と組み合わせて利用することにより、無線のセキュリティ設定（暗号化 [WEP] 設定など）およびカメラのネットワーク関連設定（ポートフォワーディング設定など）を自動的に行うことができるカメラ自動登録機能に対応しています。

特　長

カメラモニター画面対応

当社製ホームネットワークカメラ「BB-NWC150」(別売品) と組み合わせて利用することにより、最大16台までのカメラ名と静止画像をモニタリング画面上に一覧表示することができるカメラモニター画面に対応しています。また、このカメラモニター画面の設定も自動的に行うことができます。

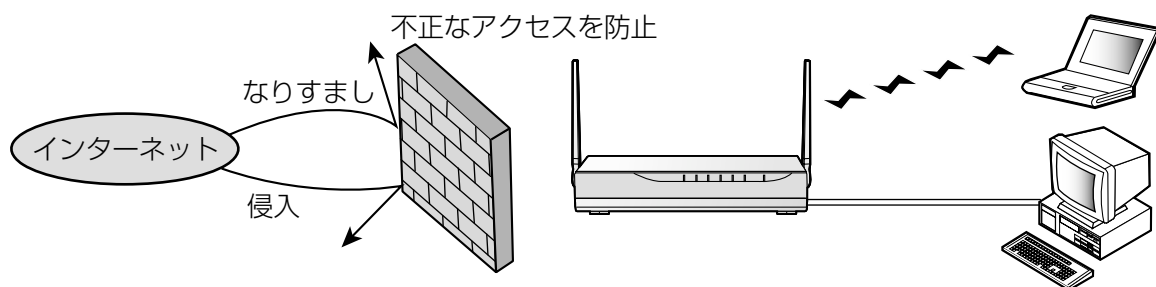
UPnP(Universal Plug and Play)対応

複数台のパソコンで同時にWindows/MSN Messengerを使用できるUPｎPに対応しています。このため、Windows/MSN Messengerを使ったビデオチャットや、インターネット電話などが簡単に利用できます。

2つのプロバイダーに同時接続可能

2つのプロバイダーに同時接続することができるPPPoEマルチセッション機能を搭載しています。このため、例えばフレッツ・ADSLなどで使用する場合には、フレッツ・スクウェアと通常のプロバイダーを切り替えることなく同時にアクセスできて便利です。

充実したセキュリティ機能

「アクセス制限」、「アドレス変換」、「セキュリティワンタッチ」などによるルーターのセキュリティ機能に加えて、「SSID」、「暗号化 (WEP) 64/128bit」、「MACアドレスフィルタリング」などによる無線のセキュリティ機能を搭載しています。これにより、他人が無断でアクセスして、不正に侵入することを難しくし、プライバシー保護やセキュリティの向上が図れます。

【商標／登録商標について】

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、MSN、Windows、およびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインにしたがって画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

【略称について】

- Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Operating Systemです。（以下Windows 98）
- Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。（以下Windows Me）
- Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional または Microsoft® Windows® 2000 Serverです。（以下Windows 2000）
- Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional または Microsoft® Windows® XP Home Editionです。（以下Windows XP）
- UPnP(TM)は、Universal Plug and Play の略称です。
- IGDとは、UPnPフォーラムで定義されたInternet Gateway Device を意味します。
- 本書ではCATVモデム、ADSLモデムまたは光ケーブルモデムのことをモデムと呼んでいます。
- 本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。

もくじ

名前や機能の名称からページを探すときは、「さくいん」が便利です（☞117～118ページ）

ご使用の前に

設定画面

もくじ

その他の機能

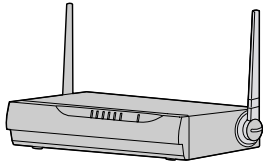
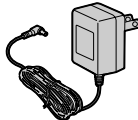
その他

はじめに

必要なシステム

項目	Windows パソコン
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP
インターフェース	10/100Mbpsのネットワークカードが内蔵されていること
メモリー	16MB 以上
プロトコル	TCP/IP プロトコルがインストールされていること
ウェブブラウザ	Internet Explorerバージョン 5.5 以降

使用しているパソコンについて不明な点がありましたときは、お客様ご相談センターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。

■ 対応ホームネットワークカメラ (別売品) (平成15年7月現在)

BB-NWC150 ホームネットワークカメラ　(屋内無線カメラ)

付属品

付属品・添付品を確認してください。
万一、不備な点がありましたら、お買い上げの販売店へお申しつけください。

本体と付属品

□ 本体....................................1台

□ ACアダプター...........................1個
(コード長　約1.8m)
(☞ かんたんガイド参照)

□ イーサネットケーブル（カテゴリー5ストレートケーブル）※....1本
(ケーブル長　約1m)
(☞ かんたんガイド参照)

□ 壁掛け用ネジ/ワッシャー........各2個
(ネジサイズ：タッピングネジ 呼び径3.5×18mm)
(☞ 103ページ)

□ コードクランパー.................... 1個
(☞ かんたんガイド参照)

※ 付属のイーサネットケーブルは本体とパソコンとの接続用です。モデムとの接続には、別途イーサネットケーブル (市販品) が必要です。

添付品

□ かんたんガイド.......................................1部
□ ご使用の前に／困ったときには.......................................1冊
□ CD-ROM (取扱説明書、設定ガイド).......................................1枚
□ 保証書.......................................1式
□ ご愛用者登録のお願い.......................................1部

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

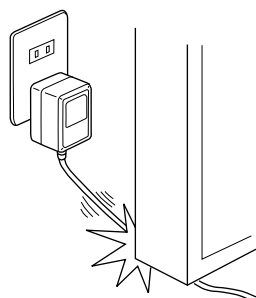
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

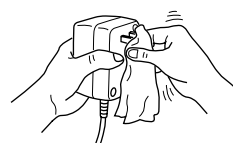
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

〔ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない〕

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

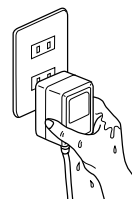
ACアダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

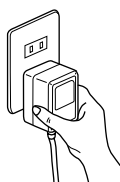
● ACアダプターを電源コンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしない

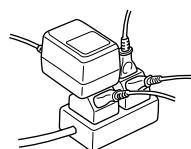
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

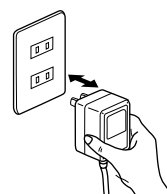
- 傷んだプラグ・ゆるんだ電源コンセントは使用しないでください。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁　止
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない

禁　止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

ACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ

感電の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない

手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。

本機からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない

禁　止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

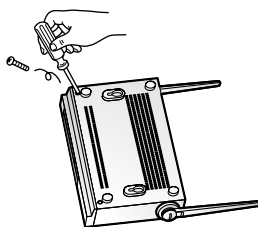
本機、ACアダプターをぬらさない

水ぬれ禁止

近くに花びん、コップなどを置かないでください。
発火・感電の原因になります。

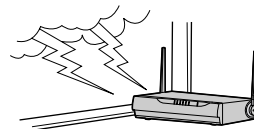
- ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造をしない

分解禁止

故障したり火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本機やACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

CD-ROMは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない

禁　止

大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

壁や天井に設置時は、ACアダプターを差し込んだ後、落下しないように対策を行う

ACアダプターが落下し、頭などにあたると、けがまたは死亡する原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注 意

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない 落下により、けがの原因になることがあります。 禁　止	**本機を壁にかけて使用するときは、堅固・確実に取り付ける** 落下により、けがの原因になることがあります。
水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない 故障や感電・ショートの原因になることがあります。 禁　止	**長期間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く** 漏電・感電の原因になることがあります。 電源プラグを抜く
ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加えない 損傷や感電の原因になることがあります。 禁　止	

正しくお使いいただくためのお願い

使用・設置場所について

長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

（変形・変色または故障・誤動作の原因になります。）

本機は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

動作温度：5 ℃～40 ℃
動作湿度：20 %～85 %

ご使用について

ジャック内部に触れないでください。

（故障の原因になります。）

隣接して使用しているラジオやテレビから2m 以上離してください。
また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

（ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。）

日頃のお手入れについて

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本機をふかないでください。
台所用洗剤（中性）を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。

（本機が変形・変色することがあります。）

- 本機は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本機を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
- 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本機のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当しますので、輸出または海外に持ち出す場合は、同法に基づく関連法規を順守してください。

正しくお使いいただくためのお願い

無線通信の使用範囲について

次のような機器と同時に本機を使用しないでください。
（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置など2.4GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本機と無線端末の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください。
（電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

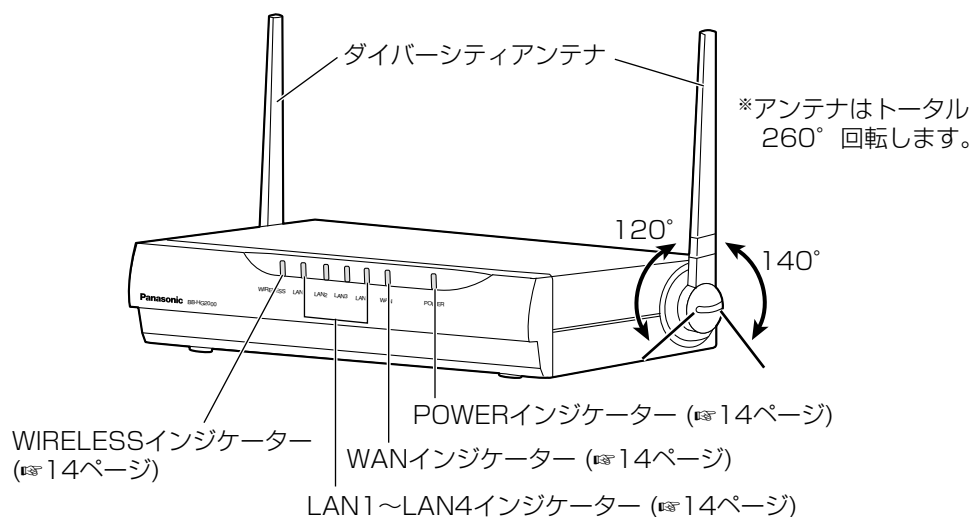
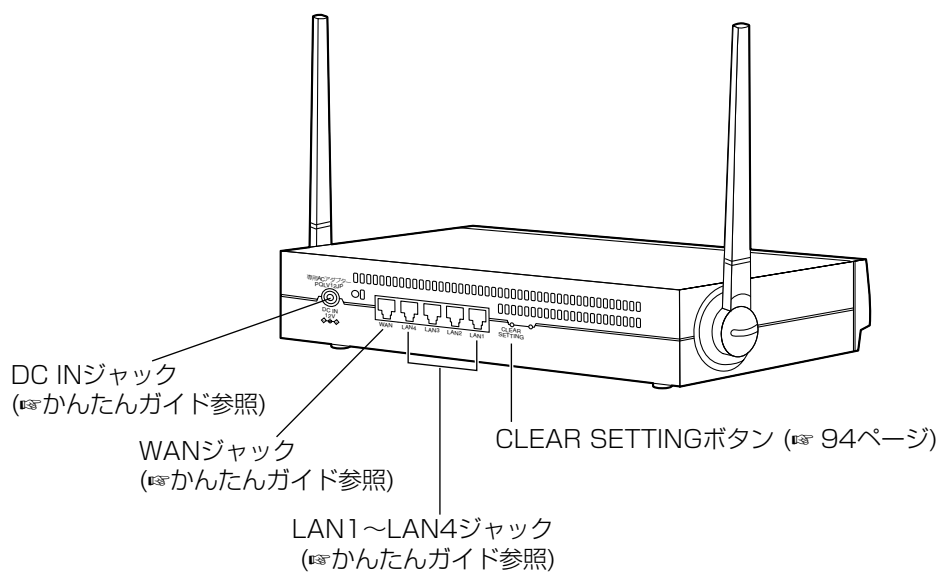
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、お客様ご相談センター（☞ 115ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、お客様ご相談センター（☞ 115ページ）へお問い合わせください。

各部の名称

正　面

ダイバーシティアンテナ
※アンテナはトータル
260°回転します。
120°
140°
POWERインジケーター (☞14ページ)
WIRELESSインジケーター
(☞14ページ)
WANインジケーター (☞14ページ)
LAN1～LAN4インジケーター (☞14ページ)

背　面

DC INジャック
(☞かんたんガイド参照)
WANジャック
(☞かんたんガイド参照)
CLEAR SETTINGボタン (☞ 94ページ)
LAN1～LAN4ジャック
(☞かんたんガイド参照)

各部の名称

インジケーター

インジケーター	点灯色	表示内容
POWER	緑	電源が入っています。
	赤	本機に障害が発生しています。 電源コンセントからACアダプターを抜き、再度差し込んでください。
	オレンジ	初期化しています。
WAN	緑	モデムやイーサネットハブなどに接続されています。
	緑（点滅）	回線接続後、データ通信をしています。
LAN1～LAN4	緑	パソコン、イーサネットハブに接続されています。
	緑（点滅）	データ通信をしています。
WIRELESS	緑	無線端末と接続しています。
	緑（点滅）	無線でデータ通信しています。

トップページ

設定方法には、かんたん設定と詳細設定があります。トップページでいずれかの設定方法を選べます。
カメラモニター画面は、本機に接続しているカメラ画像を表示します。

Panasonic

ホームネットワークステーション
BB-HG2000

かんたん設定へ
(☞ 16ページ)

かんたん設定 ― インターネット接続で必要最小限の設定を行います。

詳細設定へ
(☞ 17ページ)

詳細設定 ― すべての項目について設定できます。

カメラモニター画面へ
(☞ 19ページ)

カメラモニター画面 ― BB-HG2000に接続されているネットワークカメラの画像を表示します。
※カメラモニター画面をご使用の際は、必ずセキュリティ設定をご確認ください。
設定はこちら

本機のカメラモニター画面からカメラ画像を見るためには、本機と対応ホームネットワークカメラ(別売品)との接続が完了している必要があります。詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

かんたん設定

インターネット接続の設定をします。

1 かんたん設定 をクリックする

接続形態を選択する画面が表示されます。

2 接続形態を選択して、次へ をクリックする

接続形態メニューの中に該当する形態がないときは、手動で登録してください。「手動で登録する」にチェックを入れると、手動登録画面が表示されます。

かんたん設定

インターネット接続の設定をします。

◉ インターネットプロバイダーを選択して登録する　○ 手動で登録する

接続形態:

選択してください

注 ADSLの契約内容が、「フレッツ・ADSL」や、「Yahoo!BB」以外の場合は、「ADSL接続(PPPoE)」を選択するか、手動で登録してください。

契約内容が選択項目にない場合は、手動で登録してください。

接続形態を選択して「次へ」をクリックしてください。

次へ　取り消し

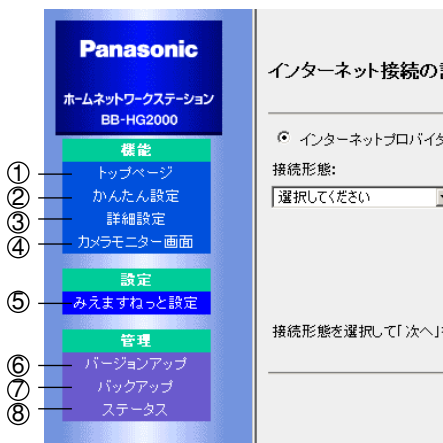
3 画面の指示に従って入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。

4 設定を終えたら、保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、再起動 が表示されたら、それをクリックする

- 「かんたん設定」で登録したプロバイダーは、設定画面にあるプロバイダー登録モニター中のNo. 1の欄に上書きされます。
- 「かんたん設定」に関する詳細な説明は、「かんたんガイド」を参照してください。

【機能】

① **トップページ：** トップページを表示します。

② **かんたん設定：** インターネット接続の設定をします。

③ **詳細設定：** 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。

④ **カメラモニター画面：** 本機に接続されているカメラ画像を見ることができます。

【設定】

⑤ **みえますねっと設定：** みえますねっとの設定を行います。

【管理】

⑥ **バージョンアップ**※**：** ファームウェアを最新版に更新します。

⑦ **バックアップ：** 設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。

⑧ **ステータス：** 回線接続状態などの情報を表示します。

※ ホームページから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

詳細設定

パソコンからウェブブラウザを使って設定を行うことができます。
各項目ごとに操作に関するヘルプ画面を参照できます。

【機能】

① **トップページ：** トップページを表示します。
② **かんたん設定：** インターネット接続の設定をします。
③ **詳細設定：** 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。
④ **カメラモニター画面：** 本機に接続しているカメラ画像を見ることができます。

【設定】

⑤ **プロバイダー登録：** インターネットに接続するための基本的な設定をします。
⑥ **接続設定管理：** 接続するプロバイダーを設定します。また、PPPoEマルチセッションで接続する場合の詳細設定をします。
⑦ **カメラ設定：** カメラ自動登録機能の設定や、手動での追加登録・削除などを行います。
⑧ **無線設定：** 無線ネットワークの設定とセキュリティの設定をします。
⑨ **みえますねっと設定：** みえますねっとの設定を行います。

つづく

機能

【拡張機能】

⑩ **アドレス変換：** WAN(インターネット)側のグローバルIPとプライベートIPアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本機のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。

⑪ **セキュリティ設定：** 本機へのアクセス制限およびフィルタリングの設定をワンタッチで行い、自動的にログを保存します。

⑫ **オプション設定：** LAN側 (ホーム) にアクセスするための設定と、インターネットに接続するための詳細な設定をします。

【管理】

⑬ **パスワード変更：** 設定画面にアクセスするためのユーザー名やパスワードを変更します。

⑭ **バージョンアップ**※：ファームウェアを最新版に更新します。

⑮ **バックアップ**：設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。

⑯ **再起動：** 本機を再起動します。

⑰ **初期化：** 本機を初期化します。設定値が、工場出荷時に設定されている標準設定値（☞ 86ページ）に戻ります。

⑱ **PPPoE接続/切断：** プロバイダーへのPPPoE接続を手動で開始または停止します。

⑲ **Ping：** IPアドレスを持った機器が接続されているか確認します。

【情報表示】

⑳ **ステータス：** 回線接続状態などの情報を表示します。

㉑ **ログ表示：** 「フィルタリングログ」、「UPnPログ」、「PPPoE接続／切断ログ」、「みえますねっとログ」を表示します。

㉒ **ヘルプ：** 設定画面のコマンドや機能について説明します。

※ ホームページから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

カメラモニター画面

本機は、ウェブサーバー機能を内蔵しています。カメラモニター画面は、最大16台までのカメラ名と静止画像を一覧表示することができます。

■ LAN（ホーム）側からカメラ画像を見る

カメラモニター画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。

1 ウェブブラウザを起動する

2 ウェブブラウザのアドレスバーに
http://192.168.0.254（：ポート番号）を入力する
（ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）

トップページが表示されます。

ウェブブラウザのアドレスバーに**http://bbhg.setup(:ポート番号)**と入力しても、トップページを表示させることができます。

■ トップページが表示されなかった場合

- アドレスバーに**http://192.168.0.254（：ポート番号）**を正しく入力しているか、確認してください。
- 本機に接続されているLANジャックに対応したLANインジケーターが点灯しているか確認してください。
- 本機→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- トップページにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞ 95ページ）

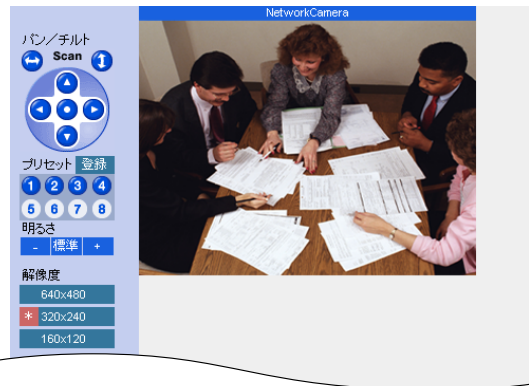
つづく

3 カメラモニター画面 をクリックする

カメラモニター画面上に、鍵マークが表示されます。(鍵マークは、カメラに認証が設定されているときに表示されます。)
カメラの認証画面が表示されるときは、カメラのユーザー名とパスワードを入力した後、カメラ更新をクリックしてください。

鍵マーク

4 アクセスしたいカメラの鍵マークをクリックする

カメラの認証画面が表示されます。カメラのユーザー名とパスワードを入力するとカメラ画像が表示されます。

- カメラモニター画面を更新するときは、設定画面上の カメラ更新 をクリックしてください。ウェブブラウザの更新ボタンをクリックすると、カメラ画像が鍵マークに戻ります。
- 一度カメラのユーザー名とパスワードを入力しカメラ画像を表示させた後は、カメラモニター画面には鍵マークではなく、カメラ画像が表示されます。詳細設定など他の画面を表示させると鍵マークに戻りますが、再度鍵マークをクリックすると認証画面が表示されることなくカメラ画像が表示されます。

■ カメラモニター画面上にカメラ画像が表示されなかった場合

- 本機に接続されているLANジャックに対応したWANインジケーター、およびLANインジケーターが点灯しているか確認してください。
- カメラモニター画面にアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 95ページ)
- モデム→本機→パソコンの順で電源を入れたか確認してください。
- カメラモニター画面にカメラ名と × マークもしくは白画面が表示されているときは、カメラ更新 をクリックしてください。

■ WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見る

WAN側からカメラモニター画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。

WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見るためには、本機がWAN (インターネット) に接続されている必要があります。インターネットへの接続方法については、かんたんガイドまたは「設定」(☞ 23ページ) 以降を参照してください。

1 ウェブブラウザを起動する

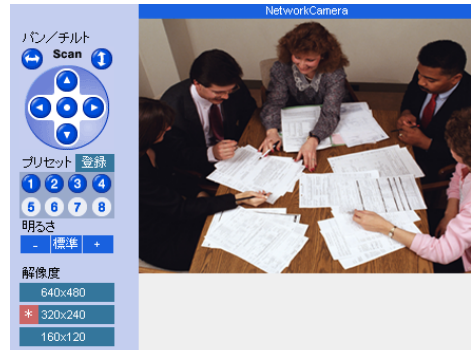
2 ウェブブラウザのアドレスバーに
http://WAN側のIPアドレスまたはURL (：ポート番号) を入力する
(ポート番号の標準設定値は80です。ポート番号が 80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)

3 Enter を押す

カメラモニター画面が表示されます。カメラモニター画面上に、鍵マークが表示されます。
(鍵マークは、カメラに認証が設定されているときに表示されます。)
WAN側IPアドレスは設定画面のステータスで確認することができます。(☞ 89ページ)
カメラの認証画面が表示されるときは、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。

つづく

4 アクセスしたいカメラの鍵マークをクリックする

カメラの認証画面が表示されます。カメラのユーザー名とパスワードを入力するとカメラ画像が表示されます。

本機をDHCP接続またはPPPoE接続で使用する場合は、IPアドレスが随時変更されますので、みえますねっとサービスのご利用をおすすめします。詳細は53ページを参照してください。

■ **カメラモニター画面が表示されなかった場合**

- アドレスバーに**http://WAN側IPアドレスまたはURL（：ポート番号）**が正しく入力されているか、確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。（☞ 95ページ）
- カメラモニター画面にカメラ名と ☓ マークもしくは白画面が表示されているときは、 カメラ更新 をクリックしてください。

カメラモニター画面やカメラの設定を変更する場合は、「カメラ設定」（☞ 39ページ）を参照してください。

プロバイダー登録

プロバイダー登録画面では、本機と接続するプロバイダーを新規登録したり、編集、削除することができます。インターネットへの接続方法はプロバイダーによって異なります。プロバイダーからの設定情報を見て、接続方法を選択してください。

プロバイダー登録モニター

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

※インターネットの接続方法がどれに該当するかなど、サービス内容や契約内容についての詳細はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

接続方法	説　明
DHCP接続 (☞ 24ページ) ● **プロバイダーの名称** ● **デバイス名** ● **ゲートウェイ** ● **DNSサーバー1／DNSサーバー2** ● **ドメイン名**	プロバイダーがDHCPサーバー機能を利用している場合、基本的に設定値の入力は必要ありませんが、デバイス名、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名の入力を求められる場合があります。プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、必要に応じて入力してください。
Static接続 (☞ 26ページ) ● **プロバイダーの名称** ● **IPアドレス** ● **サブネットマスク** ● **ゲートウェイ** ● **DNSサーバー1／DNSサーバー2** ● **ドメイン名**	プロバイダーがIPアドレスを指定する場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2を入力してください。 プロバイダーから指定がある場合は、ドメイン名を入力してください。
PPPoE接続 (端末型) (☞ 28ページ) **PPPoE接続 (LAN型)** (☞ 31ページ) ● **プロバイダーの名称** ● **ユーザー名／パスワード** ● **サービス名** ● **アクセスコンセントレーター名** ● **DNSサーバー1／DNSサーバー2** ● **ドメイン名** ● **BB-HG2000本体のIPアドレス、サブネットマスク (LAN型接続のみ)**	PPPoE接続をする場合、これらに関するデータの入力が必要になります。 プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、ユーザー名とパスワードを入力してください。 プロバイダーから指定がある場合は、サービス名、アクセスコンセントレーター名、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名を入力してください。

※ データ入力欄に設定する内容がない場合は、空欄のままにしてください。

登録を削除するときは、プロバイダー登録画面でその設定の［削除］をクリックします。

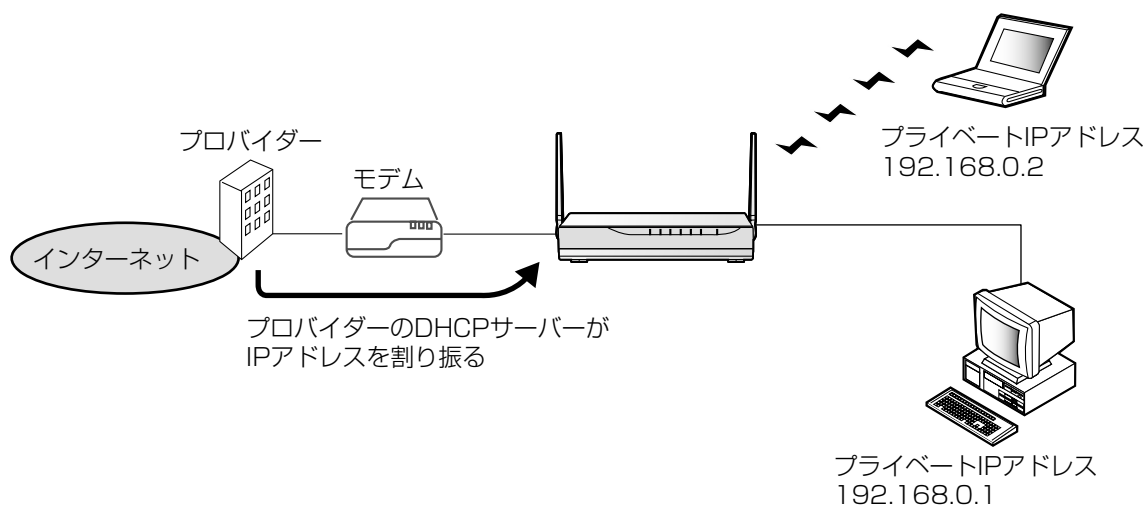
→ **プロバイダーの登録削除確認画面**が表示されます。

削除する場合は［はい］をクリックしてください。

削除しない場合は［いいえ］をクリックします。

→ プロバイダー登録画面に戻ります。

■ DHCP接続（DHCPサーバーを使ったインターネット接続）の場合

DHCP接続（プロバイダーからIPアドレスが自動的に割り振られる）は、次の手順に従ってください。

1 プロバイダー登録 を選ぶ

2 プロバイダー登録モニター中で 登録／編集 をクリックする

3 「DHCP接続」を選ぶ

つづく

4 **「プロバイダーの名称」**を入力する

半角20文字（全角10文字）以内で入力してください。

5 プロバイダーから指定がある場合は**「デバイス名」**※、**「ゲートウェイ」**、**「DNSサーバー1、2」**、**「ドメイン名」**を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、［取り消し］をクリックしてください。

※「デバイス名」は、プロバイダーによってはパソコンのコンピューター名入力欄に入力するIDと指示されている場合があります。

6 設定を終えたら、［保存して接続設定管理へ］をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの中からプロバイダーを選ぶ

8 設定を終えたら、［保存］をクリックする

設定した内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

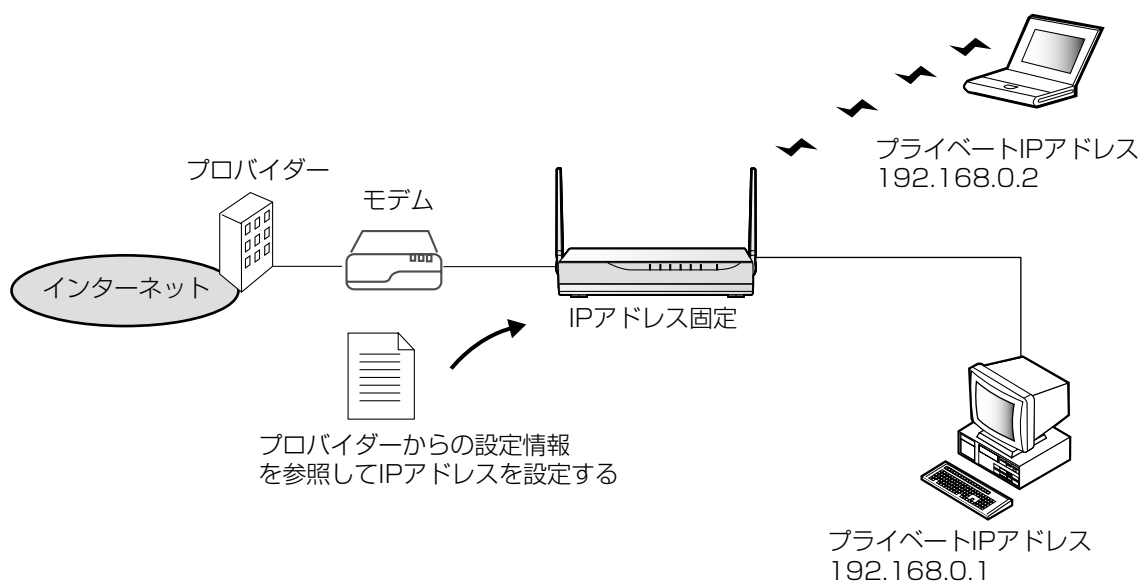
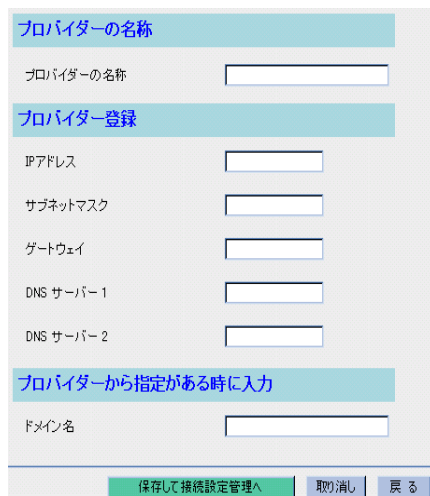
9 設定画面に［再起動］が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。
（☞ 34ページ）

- 登録／編集を行った場合、LAN（ホーム）側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション（"）を入れないでください。

■ Static接続（IPアドレス固定のインターネット接続）の場合

プロバイダーからの設定情報にIPアドレスやゲートウェイアドレスなどの値を入力するように指示がある場合は、本機にこれらの値を入力する必要があります。

1 プロバイダー登録 を選ぶ

2 プロバイダー登録モニター中で 登録／編集 をクリックする

3 「Static接続」を選ぶ

つづく

4 **「プロバイダーの名称」**を入力する

半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

5 **「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」**を入力し、プロバイダーから指定がある場合は**「ドメイン名」**を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、 **取り消し** をクリックしてください。

6 設定を終えたら、 **保存して接続設定管理へ** をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの中からプロバイダーを選ぶ

8 設定を終えたら、 **保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

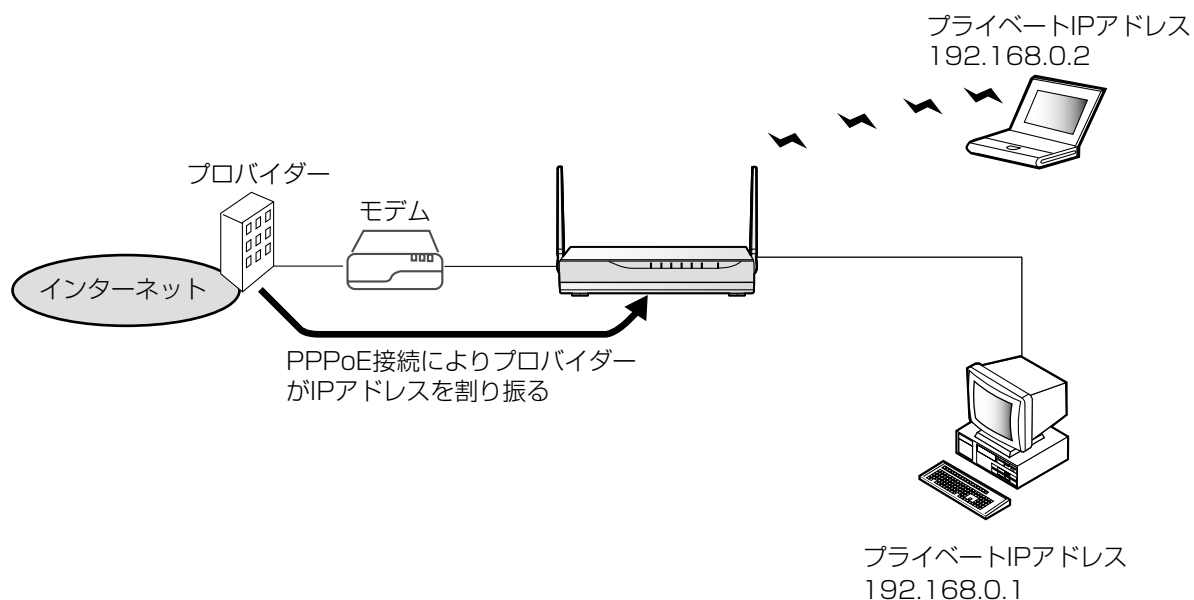
9 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 34ページ)

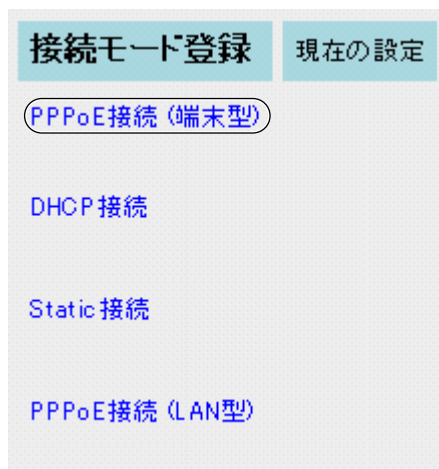
- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション (") を入れないでください。

■ PPPoE接続（端末型）の場合

PPPoE接続（端末型）の設定は、次の手順に従ってください。

1 プロバイダー登録 を選ぶ

2 プロバイダー登録モニター中で 登録／編集 をクリックする

3 「PPPoE接続（端末型）」を選ぶ

つづく

4 **「プロバイダーの名称」**を入力する

半角20文字（全角10文字）以内で入力してください。

5 **「ユーザー名」、「パスワード」**を入力し、プロバイダーから指定がある場合は**「サービス名」、「アクセスコンセントレーター名」、「DNSサーバー1、2」、「ドメイン名」**を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。
元の設定に戻すには、［取り消し］をクリックしてください。

6 設定を終えたら、［**保存して接続設定管理へ**］をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のメインセッションで、利用するプロバイダーを選ぶ

マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションの設定をします。「PPPoEマルチセッション機能」（☞ 35ページ）を参照してください。

8 設定を終えたら、［**保存**］をクリックする

設定した内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

つづく

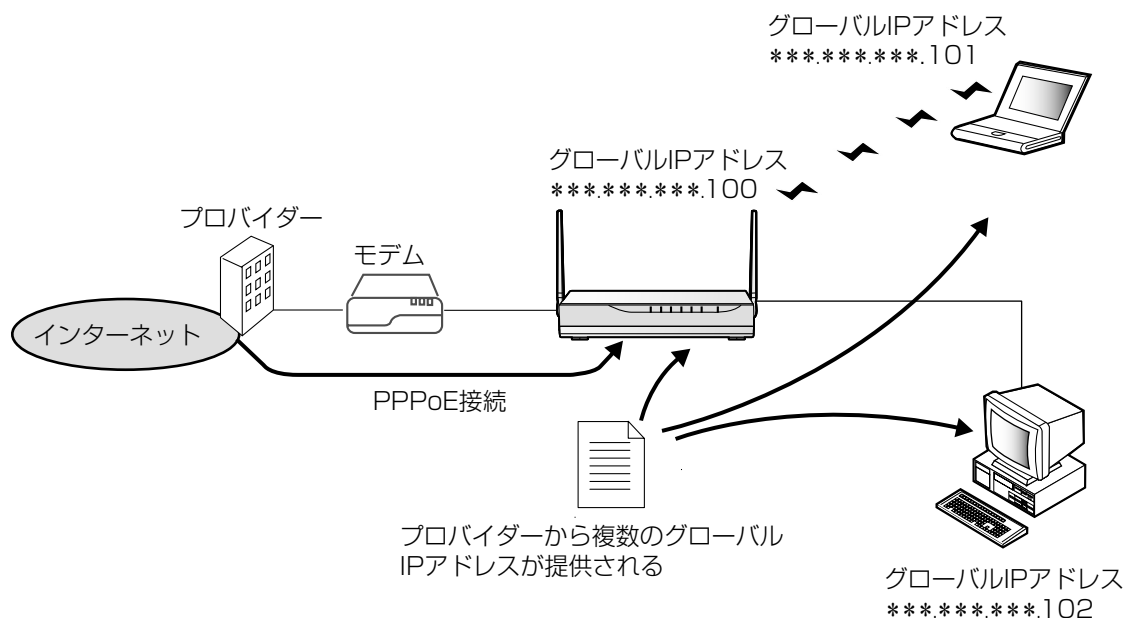
9 設定画面に 再起動 が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 34ページ)

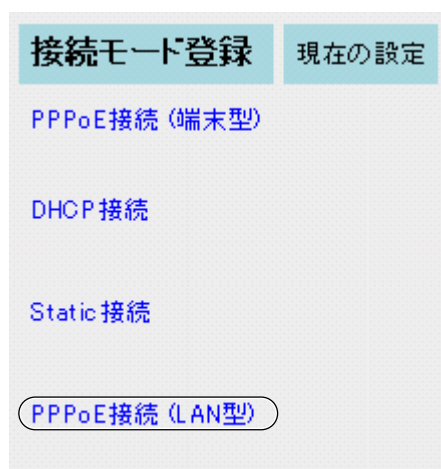
- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション (") を入れないでください。
- 利用するプロバイダーから指示がある場合、MTU値を変更してください。指示がない場合は工場出荷時の標準設定（1492）のままにしてください。(☞ 80ページ)

■ PPPoE接続（LAN 型）の場合

PPPoE接続（LAN 型）は、複数のグローバルIPアドレスをプロバイダーから提供される接続形態です。
PPPoE接続（LAN 型）の設定は、次の手順に従ってください。

1 プロバイダー登録 を選ぶ

2 プロバイダー登録モニター中で 登録／編集 をクリックする

3 「PPPoE接続（LAN型）」を選ぶ

つづく

4 **「プロバイダーの名称」**を入力する

半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。

5 **「ユーザー名」、「パスワード」、「DNSサーバー1、2」**を入力し、プロバイダーから指定がある場合は**「サービス名」、「アクセスコンセントレーター名」、「ドメイン名」**を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。

BB-HG2000本体のIPアドレスについて
プロバイダーから割り振られたグローバルIPアドレスの１つを「BB-HG2000本体のIPアドレス」に入力してください。本機からインターネットに直接送信するときに、このIPアドレスを送信元IPアドレスとして使います。

元の設定に戻すには、［取り消し］をクリックしてください。

プロバイダーの名称
プロバイダーの名称
プロバイダー登録
ユーザー名
パスワード
プロバイダーから指定がある時に入力
サービス名
アクセス
コンセントレーター名
DNS サーバー 1
DNS サーバー 2
ドメイン名
BB-HG2000本体のIPアドレス
IPアドレス
サブネットマスク
保存して接続設定管理へ　取り消し　戻る

6 設定を終えたら、［保存して接続設定管理へ］をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

7 プロバイダー設定のメインセッションで、利用するプロバイダーを選ぶ

マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションの設定をします。「PPPoEマルチセッション機能」（☞ 35ページ）を参照してください。

8 設定を終えたら、［保存］をクリックする

設定した内容が保存されます。

WAN(インターネット)側　接続モード
接続モード　○ DHCP/Static　◉ PPPoE
プロバイダー設定
接続名　プロバイダー選択
メインセッション　******
これ以降は、プロバイダーとマルチセッションで使用する契約を結んだときのみ、設定が必要になります。
サブセッション　未使用
サブセッションへの切替ルール
サブセッション（LAN(ホーム)側からWAN(インターネット)側へのパケット通信ルール）
送信元IPアドレス
送信先IPアドレスまたはホスト名
プロトコル　*(すべて)
送信先ポート

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

つづく

9 設定画面に 再起動 が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンにグローバルIPアドレスを割りつける

- **パソコンにグローバルIPアドレスを固定する**
  98ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」を参照してください。
- **パソコンにプライベートIPアドレスを固定し、静的NATを利用してグローバルIPアドレスを設定する**
  98ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」、および58ページの「静的NAT」を参照してください。

11 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。
(☞ 34ページ)

- 登録／編集を行った場合、LAN (ホーム) 側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション (”) を入れないでください。

インターネットへの接続を確認する

■ 接続の確認

インターネットに接続するための設定が終わったら、ウェブサイトにアクセスしてみてください。ウェブサイトが表示されたら、インターネットに接続されたことになります。

1 ウェブブラウザを起動する

2 ウェブブラウザのアドレスバーにウェブサイトのアドレス（例 http://panasonic.jp）を入力する

ウェブサイトが表示されます。

■ ウェブサイトが表示されなかった場合

- ウェブサイトのアドレスがウェブブラウザのアドレスバーに正しく入力されているか、確認してください。
- 本機に接続しているLANジャックに対応したWANインジケーター、およびLANインジケーターが点灯しているか確認してください。
- モデム→本機→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 95ページ)

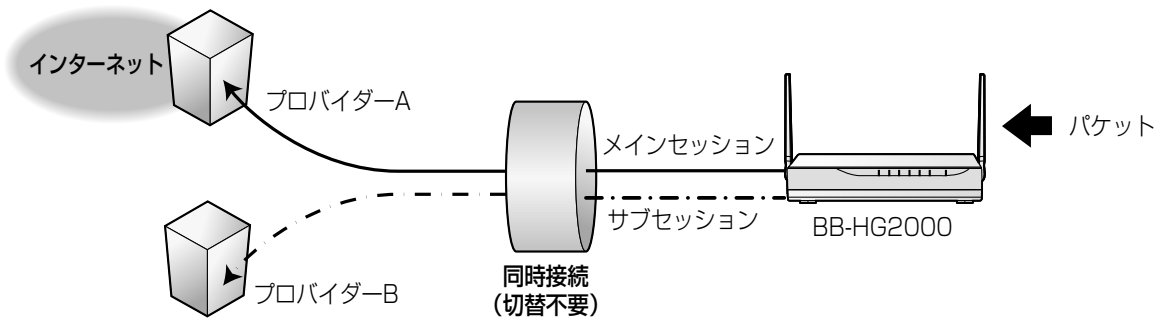
接続設定管理

接続設定管理画面では、LAN (ホーム) 側からWAN (インターネット) 側に接続するプロバイダーを選択します。

WAN側接続モード	DHCP／Static接続か PPPoE接続かを選択します。
プロバイダー設定 (DHCP/Static選択時)	使用するプロバイダーを1つ選択してください。
プロバイダー設定 (PPPoE選択時)	PPPoE接続を選択した場合、使用するプロバイダーをメインセッションに設定してください。 PPPoEマルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションにもプロバイダーを設定する必要があります。
サブセッションへの切替ルール	通常のインターネットへの接続は、メインセッションに設定したプロバイダーが使用されます。条件に一致した通信が検出された場合には、サブセッションに設定したプロバイダーが使用されます。

PPPoEマルチセッション機能

本機はPPPoEマルチセッション機能に対応しており、2つのPPPoE接続を同時に接続することができます。プロバイダーを2つ設定することにより、接続の切り替えをしなくても指定したプロバイダーを利用してインターネットへ接続することができます。NTT 東日本エリアでは、Bフレッツで2～4セッション、フレッツ・ADSLで2セッション、NTT西日本エリアでは、Bフレッツで1～20セッション、フレッツ・ADSLで1～5セッションが利用できます。ただし、NTT西日本エリアの場合、利用するセッション数によって申込み、またはフレッツ・プラスの契約が必要になります。フレッツ・スクウェアの設定については37ページを参照してください。
(平成15年5月現在)

PPPoEマルチセッション機能を使用するためには、この機能に対応した回線接続業者またはプロバイダーと別途契約する必要があります。詳細は各回線接続業者またはプロバイダーにお問い合わせください。

■ PPPoEマルチセッション設定例

本機では、PPPoEマルチセッション機能を使用することで、通常のインターネット接続をしたままフレッツ・スクウェアなどへの接続をすることができます。この設定を行うことにより、通常のインターネット接続とフレッツ・スクウェアなどへの接続を、自動的に切り替えることができます。

PPPoEマルチセッションを利用するには、メインセッションの登録が必要です。
プロバイダー経由の通常のインターネット接続用設定は必ずメインセッションに設定してください。
メインセッションの登録は、下記を参照してください。
- **PPPoE接続 (端末型) の場合 (☞ 28ページ)**
- **PPPoE接続 (LAN型) の場合 (☞ 31ページ)**

メインセッション、サブセッションの両方にPPPoE (LAN) 型を設定することはできません。PPPoE (LAN) 型を設定するときは、いずれか一方に設定してください。

IPアドレス指定方法

「送信元IPアドレス」および「宛先IPアドレス」の指定方法です。

IPアドレス	説明
＊	すべてのIPアドレス
192.168.1.3	特定のIPアドレス
192.168.1.0/24	192.168.1.0～192.168.1.255までのIPアドレス (24ビットマスク)
192.168.1.3-192.168.1.33	ハイフン“-”区切り、192.168.1.3～192.168.1.33までのIPアドレス
192.168.1.3,192.168.1.8, 192.168.1.3-192.168.1.33, 192.168.1.0/24	コンマ“,”区切り、コンマで区切ることでそれぞれを4つまで指定できます いずれもスペースなし

ホスト名指定方法

「宛先ホスト名」としてのみ使用できます。またIPアドレスを用いた指定方法との併用はできません。

ホスト名	説明
.jp	トップレベルドメインのみ指定 日本(jp)サイトすべて
.co.jp	セカンダリレベルドメインまで指定 最後に“co.jp”がつくサイトすべて
www.panasonic.co.jp	“www.panasonic.co.jp”のみ
.www.panasonic.co.jp	“host1.www.panasonic.co.jp”、“host2.www.panasonic.co.jp” “www.panasonic.co.jp”には該当しない 上の例と“.”(ドット)の有無による違いに注意
www.＊.co.jp	ワイルドカード使用

つづく

ポート指定方法

送信元ポート例	説明
*	すべてのポート
80	特定のポート
80-110	ハイフン“-”区切り、80～110までのポート番号
80,8080,80-110	コンマ“,”区切り、コンマで区切ることでそれぞれを4つまで指定できます いずれもスペースなし

サブセッション切替ルールの設定項目のうちどれか一つでも空欄がある場合、サブセッション切替ルールすべてが無視されるため、該当サブセッションの通信は行われません。

＜フレッツ・スクウェアの設定例＞

プロバイダーのPPPoEアカウントを1つしかもっていなくても、Bフレッツ、またはフレッツ・ADSLユーザーであればフレッツ・スクウェアのPPPoEアカウントを無料で利用できます。

1 **プロバイダー登録** を選ぶ

2 プロバイダー登録モニター中で **登録／編集** をクリックする

3 接続モード登録画面で PPPoE接続（端末型）をクリックする

4 プロバイダーの名称 (任意の文字列) 、ユーザー名、パスワード欄にそれぞれ入力する

設定項目	プロバイダーの名称※	ユーザー名	パスワード
NTT東日本フレッツ・スクウェア	@square	guest@flets	guest
NTT西日本フレッツ・スクウェア	@square	flets@flets	flets

※ ここに示しているプロバイダーの名称は例です。任意の文字列を設定することができます。

5 設定を終えたら、 **保存して接続設定管理へ** をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

6 プロバイダー設定欄のサブセッションに、手順4で登録した@squareを選択する

つづく

7 サブセッションへの切替ルール欄に下表に示している設定値を入力する

送信元IPアドレス	＊
宛先IPアドレスまたはホスト名	.flets
プロトコル	＊（すべて）
宛先ポート	＊

8 設定を確認したら、[保存]をクリックする

内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

9 設定画面に、[再起動]が表示されたら、それをクリックする

10 ウェブブラウザのアドレスバーにhttp://www.flets/を入力してフレッツ・スクウェアのホームページが表示できれば正常にサブセッションが確立しています

オプション設定画面にアクセスして、DNSリレーが「使用する」になっていることを確認してください。
(☞ 79ページ)

フレッツ・スクウェアに関しては、以下のホームページを参照してください。
NTT東日本ホームページ　http://www.ntt-east.co.jp/flets/
NTT西日本ホームページ　http://www.ntt-west.co.jp/flets/

カメラ設定

カメラ設定画面では、本機に接続したカメラの設定を行います。通常は、カメラ自動登録機能により本機がカメラを認識し、カメラ名やポート番号、IPアドレスを自動で設定するため、設定の必要はありません。カメラ名を変更する場合は、下記の手順に従ってください。またカメラのネットワーク設定を手動で行う場合は、カメラの追加登録の手順に従って、カメラを登録してください。

■ 自動登録されたカメラの設定変更

1 設定画面上の カメラ設定 をクリックする

2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で設定するカメラの**No.**項をクリックする

3 **カメラ名**を入力し 変更 をクリックする

登録されているカメラを削除する場合は 削除 をクリックしてください。

4 設定を終えたら、 保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に 再起動 が表示されたら、それをクリックする

- 自動登録されたカメラのポート番号やIPアドレスを変更することはできません。
- 「画像確認」で確認をクリックすると、カメラの画面を表示します。

データ入力欄について

カメラ名	カメラ名に入力した名前は、カメラモニター画面のカメラ名として表示されます。 カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。

カメラ自動登録機能について

本機に当社製ホームネットワークカメラ (別売品) を接続し、カメラの電源を入れるとIPアドレスやサブネットマスクなどカメラのネットワーク設定と無線のセキュリティ設定を自動で行います。カメラに電源が入った後、本機とカメラが通信を行い、自動的にネットワークの設定を行います。その後、カメラ画像がカメラモニター画面に登録されます。

＜設定される項目＞

BB-HG2000	静的IPマスカレード（ポートフォワーディング） カメラ登録 カメラモニター画面配置
カメラ	ポート番号 IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス SSID 暗号化キー

カメラ自動登録機能では、下記順序で各項目を割り振ります。

カメラ名	ポート番号	IPアドレス
Cam01 Cam02 Cam03 ・ ・ ・ Cam16	60001 60002 60003 ・ ・ ・ 60016	192.168.0.113 192.168.0.114 192.168.0.115 ・ ・ ・ 192.168.0.128

対応ホームネットワークカメラ (別売品)：BB-NWC150ホームネットワークカメラ (屋内無線カメラ) (平成15年7月現在)

■ カメラ自動登録機能を使わずにカメラを接続する

- すべてのカメラを手動で登録する場合は、「カメラの追加登録」(☞41ページ) を参照のうえ、設定してください。
- 特定のカメラを手動で登録する場合、カメラのネットワーク設定で、「1．セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックをはずしてください。詳細はカメラ取扱説明書の「ネットワーク設定」を参照してください。

■ カメラの追加登録

カメラの追加登録は、次の手順に従ってください。

カメラ名
ポート番号
IPアドレス

1 カメラ設定画面上の「カメラの自動登録機能の設定」で **「使用しない」** を選ぶ

2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で追加をクリックする

3 カメラ名、ポート番号、IPアドレスを入力し、 **追加** をクリックする

4 設定を終えたら **保存** をクリックする
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

- カメラを追加登録した場合、カメラ側の設定も変更してください。詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。
- カメラを追加登録した場合、静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）の設定が必要です。56ページを参照のうえ、手動で設定してください。
- カメラを追加登録した場合、カメラモニター画面配置の設定が必要です。42ページを参照のうえ、手動で設定してください。
- カメラ自動登録機能で使用されるIPアドレス、またはポート番号はカメラの追加登録では使用できません。カメラの自動登録機能で使用されるIPアドレス、ポート番号については40ページを参照してください。

データ入力欄について

カメラ名	カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
ポート番号	カメラのポート番号を入力してください。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを入力してください。

■ カメラモニター画面配置

カメラモニター画面の画面表示形式や画面配置の設定を行います。

1 カメラモニター画面配置 をクリックする

2 「カメラモニター画面表示形式」で**「カメラ名と静止画（自動更新)」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」**の中から選ぶ

3 「カメラモニター画面配置」で表示したいカメラ画面枠をクリックし、下部のドロップダウンリストからカメラを選んで 選択 をクリックする

カメラモニター画面からカメラをはずす際は、**「カメラモニター画面からカメラをはずす」**を選択してください。

現在の選択をキャンセルするには、 戻る をクリックしてください。

4 設定を終えたら、 保存 をクリックする

元の設定に戻すには、 取り消し をクリックしてください。

5 設定画面に、 再起動 が表示されたら、それをクリックする

データ入力欄について

カメラモニター画面表示形式	カメラの画面表示形式を「カメラ名と静止画（自動更新)」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」の中から選びます。
カメラモニター画面配置	カメラモニター画面のカメラ画像の配置を変更したり、任意のカメラをカメラモニター画面へ登録します。最大16台のカメラ画像をカメラモニター画面で一覧表示することができます。

■ WAN（インターネット）側アクセス制御

WAN側からカメラモニター画面へのアクセス制御を行います。設定画面のアクセス制御とは別の設定になります。

1 WAN（インターネット）側アクセス制御 をクリックする

2 「フルアクセス」、「パスワードによる保護」、「禁止」の中から１つ選ぶ

「パスワードによる保護」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

カメラモニター画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

3 保存 をクリックする

4 設定画面に、再起動 が表示されたら、それをクリックする

「パスワードによる保護」に設定した場合はユーザー名とパスワードのダイアログボックスが表示されます。登録したユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックしてください。

データ入力欄について

<WAN（インターネット）側アクセス制御>

フルアクセス	WAN側からカメラモニター画面へのアクセスを許可します。設定画面にアクセスするには、設定画面用パスワード（☞82ページ）が必要です。
パスワードによる保護	WAN側からカメラモニター画面にアクセスするには、カメラモニターへのパスワードが必要になります。設定画面にアクセスするには、設定画面用（☞82ページ）のパスワードが必要です。
禁止	WAN側からカメラモニター画面へのアクセスをすべて禁止します。

カメラ画面にアクセスするには、別途カメラのパスワードが必要になる場合があります。

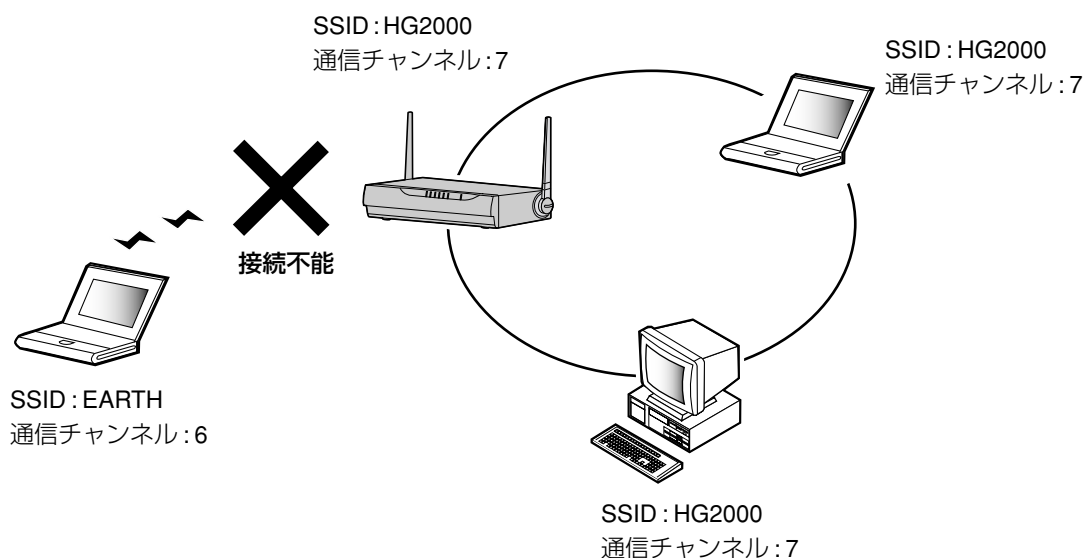
つづく

設定

＜カメラモニター表示セッションの選択＞
カメラモニター画面およびカメラ画像をWAN(インターネット)側へ公開する接続先を切り替える機能です。
カメラモニター画面およびカメラ画像を無制限にインターネット上で公開せずに、プロバイダーが提供している PPPoEセッションを利用した広域LANサービス（例えば、NTT東日本のフレッツグループアクセス・NTT西日本のフレッツグループなど※）を使用して、登録されたグループの中だけでカメラ画像を見ることができるようになります。

メインのみ	WAN側からカメラモニター画面へアクセスするときに、メインセッションからのアクセスのみ許可します。サブセッションからはアクセスできません。
サブのみ	WAN側からカメラモニター画面へアクセスするときに、サブセッションからのアクセスのみ許可します。メインセッションからはアクセスできません。
メインとサブ両方	WAN側からカメラモニター画面へアクセスするときに、メイン・サブセッション両方からのアクセスを許可します。

無線設定

無線設定画面では、無線ネットワークに接続するための設定やセキュリティの設定を行います。無線ネットワークでは、テレビやトランシーバーと同じように電波を使い、通信チャンネルを選択して通信します。また、ネットワークに名前（SSID）をつけます。同じSSIDと同じ通信チャンネルの端末同士でのみ接続することができます。
無線ネットワークに接続する機器には同じSSIDと通信チャンネル※を設定してください。

※ 本機に接続する無線端末は、本機と同じSSIDが設定されていれば、通信チャンネルを自動的に検索し、通信することができます。

- **工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有のSSIDと128bit暗号化キーが設定されています。SSIDと128bit暗号化キーの標準設定値は、本機底面に記載してあります。**
- さらにセキュリティを高めるために、SSID (☞ 47ページ) と128bit暗号化キー (☞ 48ページ) の標準設定値を変更することを強くおすすめします。

1 設定画面上の 無線設定 をクリックする

つづく

2 入力欄にSSIDを入力し、**「SSID空白のクライアントの接続」**と**「通信チャンネル」**を選ぶ

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。
本機に接続する無線端末にも同じSSIDを入力してください。
工場出荷時に設定しているSSIDの標準設定値は本機底面に記載されています。
それぞれの入力欄については、47ページを参照してください。

3 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

データ入力欄には、スペースを入れないでください。

- 無線端末側で使用している無線LANカードによっては、使用できる通信チャンネルに制限のあるものがあります。無線LANカードの通信チャンネルの範囲を確認して、本機の通信チャンネルを設定してください。
- カメラなどを自動登録した後に本機のSSIDを変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

つづく

設定

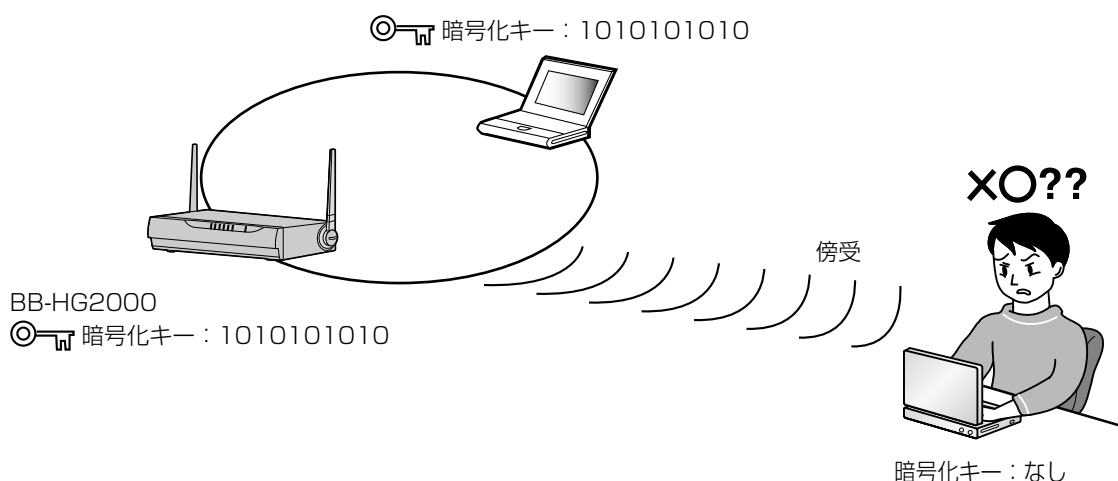
データ入力欄について

項目	内容
SSID	無線ネットワークでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSID（ESSID）と呼びます。SSIDは、無線ネットワークに接続できる各端末に設定し、同じSSIDを持つ端末同士でのみ通信ができます。SSIDの入力では、次の規則に従ってください。（標準設定で機器固有のSSIDが入力されています。本機底面に記載されています。） ● 半角英数字しか入力できません。 ● 英字の大文字と小文字は区別されます。 (例) : "TOM" と "tom" は異なる名前と認識される ● 32文字まで入力できます。
SSID空白のクライアントの接続	**「許可」**を選ぶと、SSIDが“ANY ”または空欄のパソコンが接続できます。**「禁止」**を選ぶと、同じSSIDを設定しているパソコンしか接続されません。標準設定では、**「禁止」**が設定されています。
通信チャンネル	ネットワーク内で通信するチャンネルを設定します。1～14の中から選びます。（標準設定で7が選択されています。）複数の無線ネットワークで、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、通信チャンネルが重ならないように通信チャネルを変更してください。 1チャンネル　6チャンネル　11チャンネル 2チャンネル　7チャンネル　12チャンネル 3チャンネル　8チャンネル　13チャンネル 4チャンネル　9チャンネル　14チャンネル 5チャンネル　10チャンネル 2400MHz　2500MHz

● 本機と無線端末側で同じSSIDを設定する必要があります。
● 無線LANカードの種類によっては、「SSID空白クライアントの接続」で「禁止」を選ぶと接続できない場合があります。その場合は、「許可」を選んでください。

必要に応じて「暗号化」や「MACアドレスフィルタリング」を設定してください。通信データを暗号化するには、「無線設定」画面の上の「暗号化」をクリックしてください。(☞ 48ページ)本機に登録した無線端末以外が接続できないようにするには、「MACアドレスフィルタリング」をクリックしてください。(☞ 52ページ)

■ 暗号化（WEP）設定

無線ネットワーク内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化を行うと、万一無線ネットワークのデータを、他人に読まれても解読することが困難になります。暗号化は、無線ネットワークのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。
暗号化設定時の認証方式として、Shared Key方式だけでなく、Open System方式にも対応しています。認証方式の切り替えは、本機が端末に合わせて自動で行います。

- **工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有のSSIDと128bit暗号化キーが設定されています。SSIDと128bit暗号化キーの標準設定値は、本機底面に記載してあります。**
- 暗号化キーは、パスワードを指定して作成することができます。暗号化キーは、64bitと128bitの2種類あります。128bitの暗号化キーはさらに安全性が高まります。
- カメラなどを自動登録した後に本機の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

1 [暗号化] をクリックする

2 「暗号化方式」のドロップダウンリストから**「無効」**か**「有効（64bit）」**、**「有効（128bit）」**を選ぶ

「無効」を選んだときは、[保存] をクリックしてください。

つづく

＜「有効 (64bit)」 を選んだ場合＞

3 **「入力方法」**のドロップダウンリストから**「キー入力」**か**「パスワード入力」**を選ぶ

「キー入力」： 接続する無線端末に、直接暗号化キーを入力する方法です。

「パスワード入力」： 接続する無線端末に同じパスワードを入力して、暗号化キーを自動生成する方法です。

4 ● **「キー入力」**を選んだ場合、キー1～キー4に10桁の16進数 (半角英数字で "0" ～ "9" 、"A" ～ "F" または "a" ～ "f") を入力し、標準キーを1つ選びます。

(例) キー1　01-23-45-ab-cd
キー2　cd-ef-23-45-67
キー3　ef-67-89-01-ab
キー4　cd-ab-01-23-45
標準キー　1

● **設定内容は、本機を再起動すると＊（アスタリスク）で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。**
● 接続する無線端末にも同じ暗号化キー1～キー4を入力し、同じ標準キーを選んでください。データ入力欄については51ページを参照してください。

Windows XPでは暗号化キーは、「キーのインデックス」という名称になっています。「キー1」は「インデックス0」、「キー2」は「インデックス1」、「キー3、キー4」は、それぞれ「インデックス2、インデックス3」と表記されています。

● **「パスワード入力」**を選んだ場合、右の画面が表示されます。
パスワードを入力し、標準キーを1つ選ぶ

(例) パスワード　Panasonic
標準キー　1

接続する無線端末にも同じパスワードを入力し、同じ標準キーを選んでください。データ入力欄については51ページを参照してください。

「パスワード入力」、「キー入力」いずれの場合も、元の設定に戻すには、 取り消し をクリックしてください。

つづく

＜「有効（128bit)」を選んだ場合＞

3 **「入力方法」**のドロップダウンリストから**「キー入力」**か**「パスワード入力」**を選ぶ

「キー入力」：接続する無線端末に、直接暗号化キーを入力する方法です。

「パスワード入力」：接続する無線端末に同じパスワードを入力して、暗号化キーを自動生成する方法です。

工場出荷時に設定してある標準設定値では、機器固有の128bit暗号化キーが設定されています。128bit暗号化キーの標準設定値は、設定画面にも表示されますし、本機底面にも記載してあります。

4 ● **「キー入力」**を選んだ場合、キー入力欄に26桁の16進数（半角英数字で "0" ～ "9"、"A" ～ "F" または "a" ～ "f"）を入力します。

(例) キー　ab-54-ef-87-23
98-ba-54-fe-10
cd-76-9c

- **設定内容は、本機を再起動すると＊（アスタリスク）で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。**
- 接続する無線端末にも同じ暗号化キーを入力してください。データ入力欄については51ページを参照してください。

● **「パスワード入力」**を選んだ場合、右の画面が表示されます。
パスワードを入力する
(例) パスワード　Panasonic

接続する無線端末にも同じパスワードを入力してください。データ入力欄については51ページを参照してください。

「パスワード入力」、「キー入力」いずれの場合も、元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

5 **保存** をクリックする

6 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする

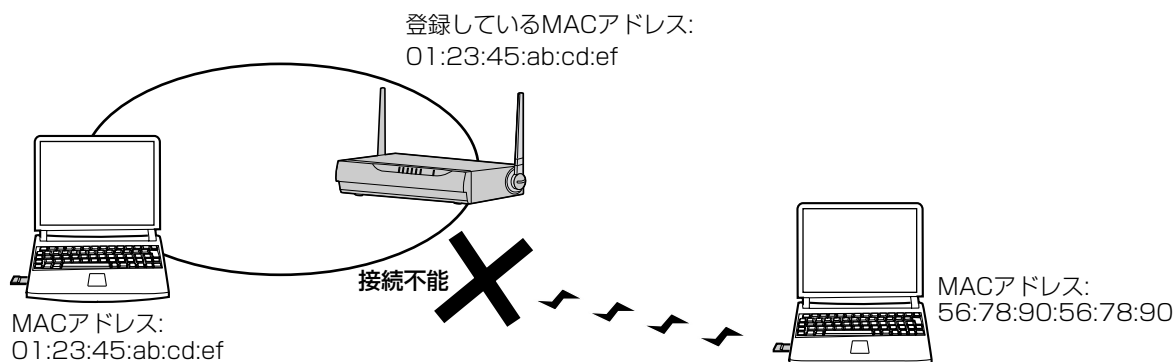
つづく

データ入力欄について

暗号化方式	暗号化キーのビット数を選びます。無効→有効（64 bit）→有効（128bit）の順で安全性が高まりますが、反対に通信速度が若干低下します。また、Windows XPでは、「64 bit」は「40ビット (10桁) 」、「128 bit」は「104ビット (26桁) 」と表記されています。 (標準設定で「有効 (128 bit) 」が選択されています。)
入力方法	異なる機種の無線端末を接続するときは、無線端末によって同じパスワードを入力しても別の暗号化キーが生成される場合があります。その場合は、キー入力で暗号化キーを入力してください。通信したい無線端末と同じ暗号化キーを入力し、標準キーを選んでください。通常は「パスワード入力」を選びます。 (標準設定で「キー入力」が選択されています。)
パスワード	暗号化キーを生成する文字を半角英数字31文字以内で入力してください。 英字は大文字と小文字の区別があります。 ※ [スペース] 、 ["] 、 ['] 、 [#] 、 [&] 、 [%] 、 [=] 、 [+] 、 [?] 、 [<] 、 [>] 、 [:] は使えません。
標準キー	暗号化キーで「有効 (64bit) 」を選んだ場合は、4つの標準キーの中から1つを選びます。
暗号化キーの手動設定	暗号化キーを生成する文字を入力します。暗号化キーのビット数により、入力する文字数が異なります。 入力例 64bit　10 文字：12-34-56-ab-cd 128bit　26 文字：12-34-56-78-90-ab-cd-ef-12-34-56-78-90 128bitの場合は1つのキーに26桁の16進数を入力してください。 暗号化キーは、半角英数字で“0”～“9”、“A”～“F”または“a”～“f”の使用が可能です。2文字ごとにハイフン“-”で区切ってください。英字の大文字と小文字は区別されます。

- 無線LANカードによっては、同じパスワードを入力しても別の暗号化キーが生成される場合があります。その場合は、「キー入力」を選択して、同じ暗号化キーを直接入力してください。さらに、暗号方式が「有効 (64 bit) 」の場合は、無線LANカードと同じ標準キーを選んでください。
- Windows XPでは暗号化キーにASCII文字を使用できますが、本機は16進数しか扱えませんので、ASCII文字は使用できません。
- カメラなどを自動登録した後に本機の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

■ MACアドレスフィルタリング登録

本機に登録していないパソコンから本機に接続できないようにします。各パソコンのネットワークカードには、そのネットワークカードに固有のMACアドレスが登録されています。そのMACアドレスの値を「MACアドレスフィルタリング」に登録すると、登録したMACアドレスを持つパソコン以外は接続できなくなります。各パソコンのMACアドレスの確認のしかたは「パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには」(☞ 96ページ)を参照してください。

1 MACアドレスフィルタリング をクリックする

2 **「使用する」**を選ぶ

3 「現在の設定」でNo. の**「追加」**をクリックする

4 MACアドレスをデータ入力欄に入力する

半角数字とA～Fまたはa～fを2文字ずつ「：」で区切って入力してください。

5 追加 をクリックする

6 保存 をクリックする

7 設定内容を確認のうえ、 再起動 をクリックする

みえますねっと設定

WAN (インターネット) 側からカメラ画像を見るには、みえますねっと設定を利用します。みえますねっとサービスからURLを取得して、カメラモニター画面にアクセスしてカメラ画像を見ることができます。みえますねっと設定を利用してWAN側からカメラ画像を見るには、次の手順に従ってください。

みえますねっとサービスは有料サービスです。次の手順は、みえますねっとサービスを有料にて使用される場合のみ行ってください。

Static接続でインターネット接続している場合は、本機の「基本設定」にて登録したIPアドレスを使用してカメラモニター画面にアクセスできます。したがってみえますねっとサービスに登録する必要はありません。

1 設定画面上の **みえますねっと設定** をクリックする

2 **「使用する」**を選ぶ

3 E-mailアドレス入力欄に登録用の**E-mailアドレス**を入力する

カメラをすでにみえますねっとサービスに登録している場合は、本機にみえますねっと設定を行わないでください。

連絡先E-mailアドレスを入力するとみえますねっとサーバーから登録のご案内メールが送付されます。

4 **保存** をクリックする

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

トップページが表示されます。

6 **かんたん設定** をクリックする

かんたん設定画面が表示されます。

つづく

7 設定画面上の みえますねっと設定 をクリックする

「取得URL」に仮登録用のURLが、「みえますねっとサービスへのリンク」に申し込み先のURLが、それぞれ表示されます。

「取得URL」、「みえますねっとサービスへのリンク」が表示されるまで数十分かかることがあります。

8 「みえますねっとサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックする

9 「みえますねっと」の登録手順に従って、本機を「みえますねっと」に登録する

10 インターネットに接続できるパソコンのウェブブラウザに、「取得URL」に表示されているURLを入力する

（例：http://camXXXX.miemasu.net）
カメラモニター画面が表示されます。

拡張機能

アドレス変換

アドレス変換画面では、WAN (インターネット) 側のグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本機のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。メールサーバーを立ち上げるときなどIPマスカレード機能、静的IPマスカレード機能を有効にする場合に、設定してください。UPnP対応アプリケーション(Windows/MSN® Messenger など)を利用する場合は、63ページを参照してください。

1 設定画面上の アドレス変換 をクリックする

2 「有効／無効の設定」で **「使用する」** か **「使用しない」** を選ぶ

アドレス変換をセッションごとに「使用する」、「使用しない」を設定します。
WAN (インターネット) 側の1個のグローバルIPアドレスを利用して静的IPマスカレードの設定をする場合は、**「端末型」** をクリックしてください。
WAN (インターネット) 側の複数のグローバルIPアドレスを利用してアドレス変換する場合は、**「LAN型」** をクリックしてください。各セッションでUPnPを利用する場合は、「使用する(UPnP対応)」、UPnPを利用しない場合は、「使用する(ノーマル)」を選んでください。

3 設定を終えたら、 保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

4 設定画面に、 再起動 が表示されたら、それをクリックする

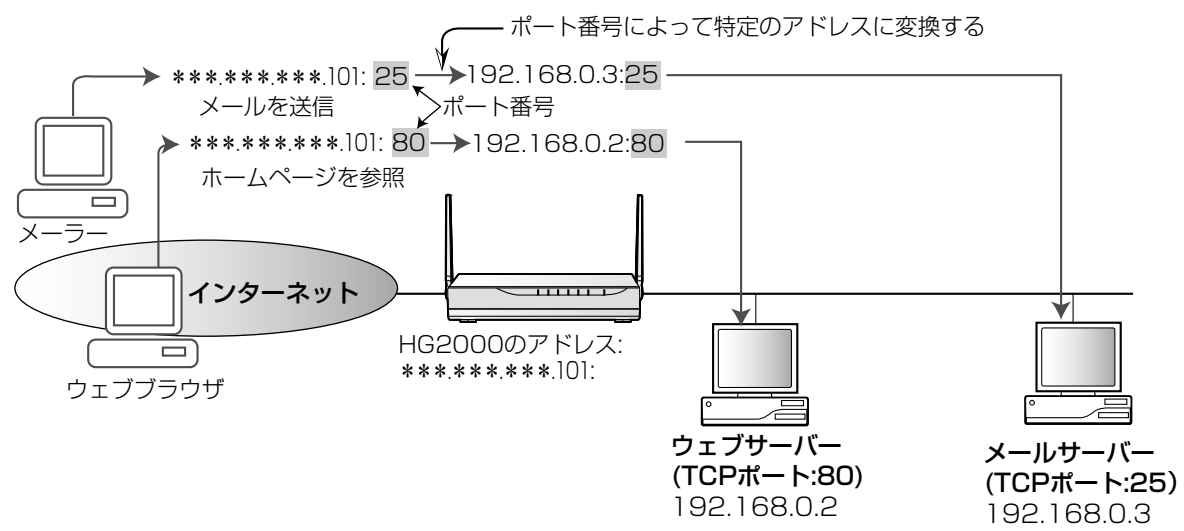
端末型のアドレス変換については56ページ、LAN型のアドレス変換については58ページを参照してください。

アドレス変換を行った場合、本機に接続しているパソコンのネットワーク設定も行い、パソコンを再起動してください。

■ 端末型アドレス変換

静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）

WAN (インターネット) 側のパソコンからアプリケーションを使ってLAN (ホーム) 側のサーバーに通信が行われると、パケットが本機に送られます。パケットにはアプリケーションが使用するポート番号がついており、本機がパケットを特定のパソコンに転送します。静的IPマスカレードの機能を利用するには、アプリケーションが利用するポート番号※を調べ転送対象ポート入力欄に入力し、転送先IPアドレス入力欄に対応するパソコンのIPアドレスを入力してください。

※おもなアプリケーションとポート番号について
ウェブサーバー：TCP/UDP 80番、FTPサーバー：TCP/UDP 20番と21番、
Telnet：TCP/UDP 23番、SMTPサーバー：TCP/UDP 25番、POP3サーバー：TCP/UDP110番

LAN (ホーム) 側に別途ウェブサーバーを設置する場合は、そのサーバーのポート番号と本機設定画面のポート番号 (標準設定：80) と重ならないように設定する必要があります。オプション設定画面で本機設定画面のポート番号の値を変更してください。 (☞ 76ページ)

設定例：
プライベートIPアドレスが192.168.0.2のパソコンにウェブサーバーを立ち上げてホームページを公開する場合、TCPプロトコル、ポート番号：80（WWWサービスポート番号）と192.168.0.2（プライベートIPアドレス）を入力してください。
プライベートIPアドレスが192.168.0.3のパソコンにメールサーバーを立ち上げる場合、TCPプロトコル、ポート番号：25（メールサービスポート番号）と192.168.0.3（プライベートIPアドレス）を入力してください。

設定例：

No.	エントリ	対象接続	転送対象プロトコル	転送対象ポート	転送先IPアドレス
1	有効	*	TCP	80	192.168.0.2
2	有効	*	TCP	25	192.168.0.3

つづく

優先順位の変更

静的IPマスカレードのエントリを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリNo. の小さい順に、静的IPマスカレードの処理を行います。エントリの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリNo. を、入力欄に入力して［移動］をクリックしてください。その後、［保存］をクリックし、設定画面に［再起動］が表示されたらそれをクリックしてください。

優先順位の変更

優先順位の変更：No. ［　］と No. ［　］の優先順位を入れ替えます。［移動］

［保 存］［取り消し］

- データ入力欄には、スペースを入れないでください。
- 「パソコンのIPアドレスを固定するには」（☞ 98ページ）を参考にTCP/IPの設定を行ってください。

静的IPマスカレードの転送先IPアドレスに設定したネットワーク機器は、設定したプロトコル、ポートを通じてインターネットからアクセスすることができます。

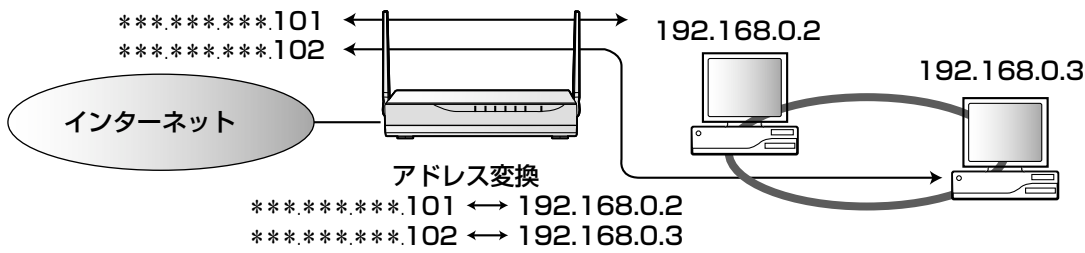
項目	説明
エントリ	「有効」または「無効」を選びます。「有効」を選んだ場合、エントリはテーブル（対象接続、プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス）に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。“＊”を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP/Static接続が対象となります。
転送対象プロトコル	インターネットでデータを送受信する際に使うプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、PPTPの中から選ぶことができます。
転送対象ポート	インターネットでデータを送受信する際に使うポートを指定します。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 ● ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。 ● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。
転送先IPアドレス	本機に接続されたパソコンのプライベートIPアドレスを設定します。インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。対応するパソコンのIPアドレスをこの値に固定してください。

このテーブルを設定すると、インターネットから転送対象ポートへ不正アクセスされる可能性があります。安全のため、必要なときにのみ設定してください。

■ LAN型アドレス変換

プロバイダーから複数のグローバルIPアドレスを提供されているとき、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの相互変換の設定を行います。

静的NAT

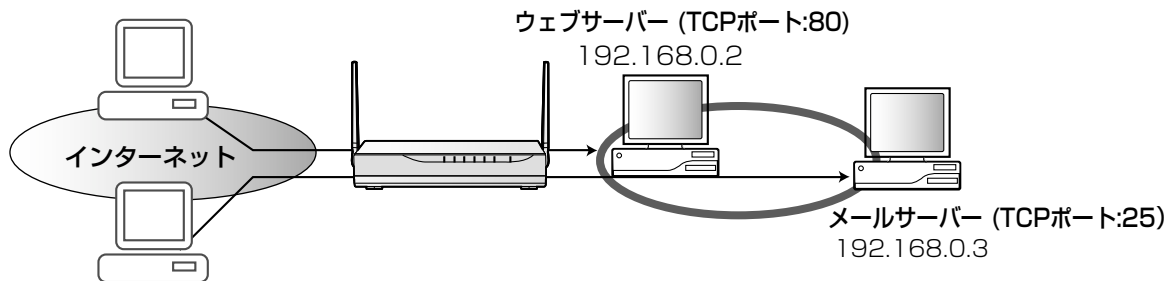
提供されているグローバルIPアドレスと、本機に接続しているパソコンのプライベートIPアドレスを１対１で対応させます。

設定例：

グローバルIPアドレス＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.101とプライベートIPアドレス192.168.0.2.を、＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.102と192.168.0.3をそれぞれ１対１で対応させる場合は、次のように入力してください。必ず転送対象プロトコルに「＊」を選び、転送対象ポートに「＊」を入力してください。入力後、転送対象ポート欄には「0-65535」と表示されます。

No.	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	***.***.***.101	*	0-65535	192.168.0.2
2	有効	***.***.***.102	*	0-65535	192.168.0.3

つづく

静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)

１つのグローバルIPアドレスを使って、WAN (インターネット) 側のパソコンから、本機に接続している複数のパソコンを参照することができます。

設定例：

グローバルIPアドレス ***.***.***.101を通して、192.168.0.2や192.168.0.3のパソコンを参照させるには、次のように入力してください。

No.	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	***.***.***.101	TCP	80	192.168.0.2
2	有効	***.***.***.101	TCP	25	192.168.0.3

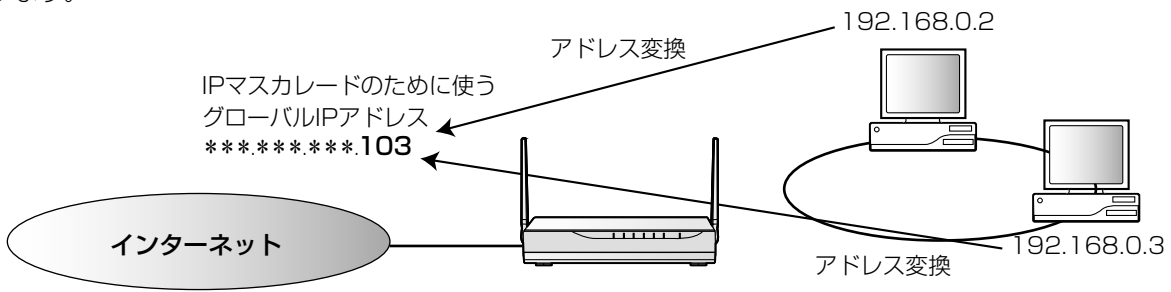
「パソコンのIPアドレスを固定するには」(☞ 98ページ) を参考にTCP/IPの設定を行ってください。

優先順位の変更

静的アドレス変換のエントリを追加すると「優先順位の変更」の設定欄が表示されます。エントリNo. の小さい順に静的アドレス変換の処理を行います。エントリの優先順位を変更するには、移動する項目のエントリNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリNo. を右の入力欄に入力して、 移動 をクリックしてください。その後、 保存 をクリックし、設定画面に 再起動 が表示されたらそれをクリックしてください。

つづく

IPマスカレード

１つのグローバルIPアドレスを使って、複数のパソコンからインターネットに接続するときに、この機能を使います。

設定例：

機能	No.	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
静的 アドレス変換	追加					
IPマスカレード			***.***.***.103	−	−	(注)

エントリ	「有効」または、「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリはテーブル (プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス) に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
WAN側IPアドレス	インターネットでデータのやり取りをするグローバルIPアドレスを入力してください。
転送対象プロトコル	インターネットでデータを送受信する際に使うプロトコルを選んでください。TCP、UDP、TCP＆UDP、ICMP、PPTP、＊（すべて）の中から選ぶことができます。
転送対象ポート	インターネットでデータを送受信する際に使うポートを指定してください。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 ● ポートを１つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。 ● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。 ● 転送対象プロトコルに「＊」を選んだ場合は、ポート番号にも必ず「＊」を入力してください。

つづく

LAN (ホーム) 側IPアドレス	本機に接続したパソコンのプライベートIPアドレスを設定してください。インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。この場合、対応するパソコンのIPアドレスをこの値に設定してください。
IPマスカレード	静的アドレス変換のエントリに設定していないプライベートIPアドレスを持つ複数のパソコンからインターネットに接続するとき、ここに入力したグローバルIPアドレスに変換され、使用されます。何も入力していないと、プロバイダー登録画面で指定したグローバルIPアドレス、またはプロバイダーが割り振るIPアドレスが使用されます。

LAN型の設定で注意すること

● WAN（インターネット) 側のIPアドレスが異なるとき、LAN (ホーム) 側のIPアドレスを重複させることができません。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.2
2	有効	xxx.yyy.zzz.101	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.102	TCP	30	192.168.0.2

同一のアドレスを入力しない

● 転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方を「＊」に設定した場合は、その設定が優先されるため、その他の設定が無視される場合があります。
特定のポートを使用するパケットは、192.168.0.1～3に転送し、それ以外のポートは192.168.0.4に転送する場合、転送対象プロトコルと転送対象ポートの両方に「＊」を入力すると、４番目の設定が優先されるので上の３つの転送設定が処理されません。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	*	0-65535	192.168.0.4

この設定が優先される

「＊」と「0-65535」のとき、静的NATとして処理し、上の行の設定が無視されてしまいます。

この場合、下図のように転送対象プロトコルと転送対象ポートを設定すると、上の行から順番に処理されます。

No	エントリ	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	10	192.168.0.1
2	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	20	192.168.0.2
3	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	30	192.168.0.3
4	有効	xxx.yyy.zzz.100	TCP	40	192.168.0.4

TCPを選択

■ UPnPポート自動削除設定

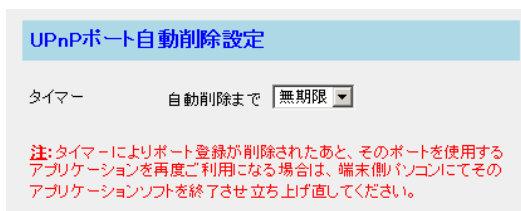
Messenger対応の機能により動的に開いたポートを削除するための時間を設定します。1～24時間の範囲で1時間単位で設定できます。“無期限”に設定するとポートの自動削除は行われません。この場合、ポートを削除するには本機を再起動するか、ステータス内のUPnPポートマッピングテーブルを表示して［テーブル削除］をクリックし、手動で削除を行う必要があります。

1. タイマーのプルダウンメニューから時間を選ぶ
2. 設定を終えたら、［保存］をクリックする
3. 設定画面に、［再起動］が表示されたら、それをクリックする

UPnPポート自動削除設定

タイマー　自動削除まで　無期限

注: タイマーによりポート登録が削除されたあと、そのポートを使用するアプリケーションを再度ご利用になる場合は、端末側パソコンにてそのアプリケーションソフトを終了させ立ち上げ直してください。

拡張機能

UPnP機能

本機はUPnPに対応したアプリケーションやUPnP対応機器を利用できます。UPnP機能は、有線で接続したパソコン、無線で接続したパソコンのいずれからでも利用できます。

UPnP機能は、各接続（DHCP/Static/PPPoE）でアドレス変換を使用している場合に有効です。

■ UPnPについて

UPnP Forum IGD（Internet Gateway Device）Version 1.0に準拠し、NATトラバーサル機能※に対応しています。これによって、本機のLAN側に接続した複数台のパソコンから同時にWindows/MSN Messengerを利用できます。

※NATトラバーサル機能
ネットワーク認識アプリケーションが、NATデバイスの配下にあることを検出し、外部IPアドレスを識別して、外部ポートから内部ポートへパケットを転送するポートマッピングを設定できる一連の機能

■ UPnP機能を利用できるOS（平成15年7月現在）

UPnP機能に対応しているOSは以下のとおりです。

- Windows XP
- Windows Me

Windows 98とWindows 2000は、MSN Messengerを利用することで本機のUPnP機能を利用することができますが、UPnPの正式対応OSではないため、動作を保証するものではありません。

■ UPnP対応アプリケーション

平成15年7月現在、動作を確認しているUPnP対応アプリケーションは以下のとおりです。

- MSN Messenger Ver. 5.0以降、Windows Messenger Ver. 4.7以降（Windows XP）
  Windows MessengerはWindows XPに標準搭載されており、MSN Messengerはマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードできます。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ビデオチャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「リモートアシスタンス」、「アプリケーション共有」、「ホワイトボード」、「電話をかける」(MSN Messengerのみ) などの機能があります。
- MSN Messenger Ver. 5.0以降（Windows XP以外）
  Windows 98/Me またはWindows 2000で利用可能です。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「電話をかける」などの機能があります。

- Windows/MSN Messengerを利用するパソコンには、DirectX® 8.1以降がインストールされている必要があります。
- 「電話をかける」機能を利用する場合には、マイクロソフトのウェブサイトから“Windows Messengerのオーディオに関連するアップデート”を行う必要があります。

■ UPnP機能を利用できるパソコンの台数

最大5台のパソコンから同時にWindows/MSN Messengerを利用することができますが、利用する機能によっては同時接続可能端末数が5台に満たない場合があります。

● Windows/MSN Messengerは、自動的にポートとIPアドレスの割り振り（UPnPポートマッピング）を行う仕様です。
● UPnPで設定可能なポートマッピング数は各セッションで128件です。

■ パソコンの準備

<Windows XPの場合>

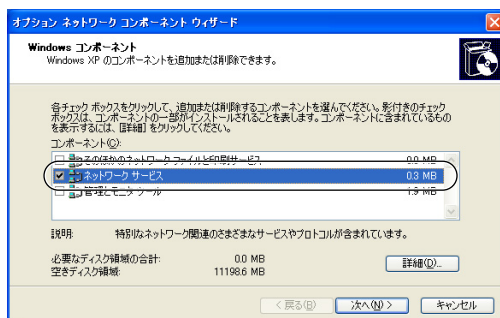
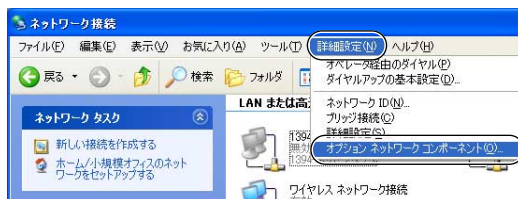
● **Windows Messengerを利用する場合**
Windows Messengerのヘルプメニューから「Windows Messengerのバージョン情報」を選択します。MSN Messengerのバージョンが4.7より古い場合にはバージョンアップしてください。

● **MSN Messengerを利用する場合**
MSN Messenger (Windows XP版) をマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードしてインストールする。

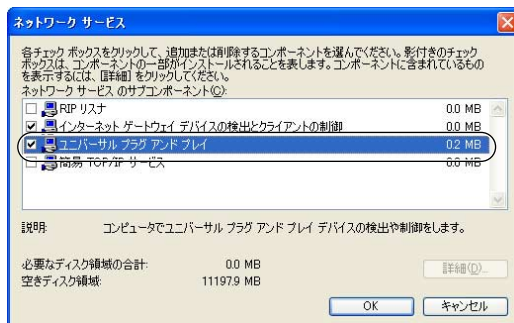
UPnPの設定

1 「スタート」メニューの「マイコンピュータ」から「マイネットワーク」を選び、「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ

2 「詳細設定」メニューから「オプションネットワークコンポーネント」を選ぶ

3 「ネットワークサービス」を選び ［詳細］ をクリックする

4 「ネットワークサービス」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認する

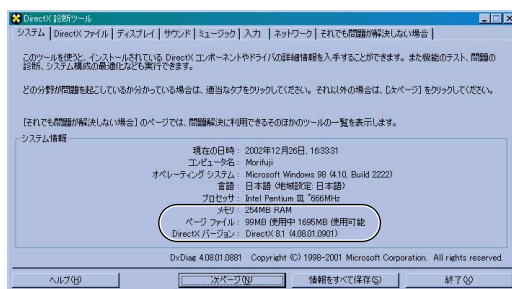
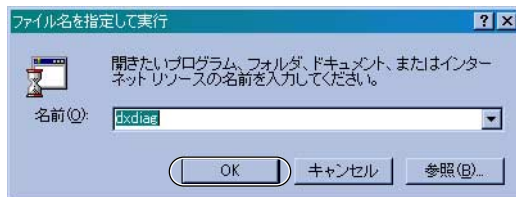
チェックが入っていない場合は、チェックを入れて ［OK］ をクリックします。
Windows XPのCD-ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 2000の場合＞

MSN Messengerのバージョンを確認する

MSN Messengerのヘルプメニューから「MSN Messengerのバージョン情報」を選択します。MSN Messengerのバージョンが5.0 より古い場合にはバージョンアップしてください。

DirectXのバージョン確認

1. 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択する
2. 名前欄に「dxdiag」を入力して OK をクリックする
3. DirectXのバージョンが8.1より古い場合はバージョンアップする

   画面に従って操作してください。

UPnPの設定（Windows Meのみ設定）

Windows 98、Windows 2000にはこの設定はありません。

1. 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ
2. 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして、「Windowsファイル」タブをクリックする
3. 「コンポーネントの種類」で「通信」を選択して 詳細 をクリックする

   「コンポーネントの種類」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認してください。
   チェックが入っていない場合は、チェックを入れて OK をクリックします。
   Windows MeのCD- ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。

■ Windows/MSN Messengerを利用する

<Windows/MSN Messenger 対応アドレス変換の設定（UPnP設定）>

1 本機のウェブ設定画面上の［アドレス変換］をクリックする

2 アドレス変換の**「有効/無効の設定」**で**「使用する（UPnP 対応）」**をクリックする

3 **「UPnP ポート自動削除設定」**の時間を設定する

UPnP 対応の機能により、動的に開いたポートを削除するための時間を設定します。1時間から24時間の範囲の1 時間刻みで設定できます。「**無期限**」に設定するとポートの自動削除は行われません。

- ポートが登録されてからは、上記で設定した時間が経過したら、強制的にポートが削除されます。アプリケーションの使用／未使用にかかわらず時間が経過すれば、ポートが閉じます。
- 音声チャットなどを24 時間以上断続的に利用するときは、タイマー値を無期限にしてください。この場合、ポートを削除するには本機を再起動するか、ステータス内の「UPnP ポートマッピングテーブル」を表示して「テーブル削除」を実行し、手動で削除を行う必要があります。（☞ 89ページ）
- UPnPポート自動削除設定はアドレス変換のUPnP対応時のみ有効になります。

4 設定を終えたら、［保存］をクリックする

設定した内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

つづく

5 ウェブ設定画面に、 **再起動** が表示されたら、
それをクリックする

- アドレス変換の設定を変更した場合、本機に接続しているパソコンの設定も行い、パソコンを再起動してください。
- UPnPポート自動削除設定の設定が無期限の場合、UPnP でオープンされた外部ポートは、アプリケーションからの削除要求か、アプリケーションで登録した有効期間が満了する以外は閉じられません。セキュリティの面から、Windows/MSN Messengerを使用する場合は、自動削除するようにタイマーを設定してください。
  なお、Windows/MSN Messengerを起動している状態でタイマーによるポート削除によりリンクが切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了してから起動し直してください。
  Windows/MSN Messenger をサインインし直すだけでは正常に動作しませんのでご注意ください。

■ UPnP関連情報の表示

＜UPnPログ＞

Windows/MSN Messengerが本機に対して行ったポートマッピングの状況について表示します。あらかじめ拡張機能の「アドレス変換」で、「使用する（UPnP 対応）」に設定する必要があります。（☞55ページ）

Windows/MSN Messengerが本機に対して行ったリクエストのログを、最新のものから表示します。最大ログ件数は100件です。100件を超えた場合は古いものから順に消去されます。また、本機を再起動するとUPnPログ情報は消去されます。

UPnPログの確認方法については、92ページを参照してください。

■ その他

＜動作環境＞

UPnPでWindows/MSN Messengerを利用する場合、通信する相手の環境によって動作環境に制約があります。

Windows/MSN Messenger機能を使う際、本機では問題ありませんが、他の環境によっては通信できない場合があります。たとえば通信相手がUPnPに対応していないルーターを使用している場合や、プライベートアドレスを付与するプロバイダー経由で接続している場合などです。

＜本機接続時のパソコン画面について＞

次の手順はWindows Me を使った場合です。

1 本機にUPnPがONに設定されたパソコンを接続する

パソコンのマイネットワーク上とタスクトレイ上に本機のアイコンが表示されます。

- アイコンは、Windows 98 、Windows 2000では表示されません。
- タスクトレイアイコンは一度だけ表示され、二度目の接続では表示されません。

2 タスクトレイ上のアイコンをクリックする

デスクトップ上にショートカットアイコンを作成するか聞いてきます。 [はい] を押すとデスクトップ上にアイコンが作成されます。

3 マイネットワーク上のアイコンもしくはデスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックする

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力すると、本機の設定画面が表示されます。

つづく

拡張機能

機能名称	Windows XP		Windows 98/2000/Meの場合
	Windows Messenger 4.7	MSN Messenger 5.0	MSN Messenger 5.0
インスタントメッセージ	設定によらず使用可	設定によらず使用可	設定によらず使用可
音声チャット	使用可	使用可	使用可
ビデオチャット	使用可	使用可	機能なし
ファイルまたは写真の送信	使用不可	使用可	使用不可
ホワイトボード	使用可	使用可	機能なし
アプリケーション共有	使用可	使用可	機能なし
リモートアシスタンス	使用可	使用可	機能なし
電話をかける	機能なし	使用可 (※1)	使用可 (※1)

※1 本機を通過した過去の通信や、サーバーの状態により電話ができないと判断される場合があります。

Windows/MSN Messengerの各機能については、Windows/MSN Messengerのヘルプを参照してください。

拡張機能

■ DMZ機能

DMZ（DeMilitarized Zone）機能を利用すると、WAN (インターネット) 側からLAN (ホーム) 側へ送られた宛先不明のパケットを、DMZで設定した特定のIPアドレスへ転送することができます。DMZによって転送されるパケットは、すべてのセキュリティフィルターを通過して、設定されたIPアドレスへ転送されます。

1 設定画面上の アドレス変換 をクリックする

2 DMZ機能のホストIPアドレス欄に、転送先IPアドレスを入力する

- **転送先に設定するIPアドレスは、LAN上にあるIPアドレスにしてください。**
- **本機のDMZ機能は、ポートフォワーディングによりLAN (ホーム) 側に接続した機器のIPアドレスにデータを転送する機能です。転送先に設定したIPアドレスに対するフィルターは無効になります。本機はセグメントを分けるDMZ機能ではないので、万一転送先に設定したIPアドレスが攻撃を受けた場合は、同じLAN (ホーム) 側に接続しているほかの機器も攻撃される恐れがあります。セキュリティ面には十分に注意して、使用してください。**
- **DMZ機能を使用する場合は、アドレス変換を「使用する」に設定してください。** **(☞ 55ページ)**

3 設定を終えたら、 保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

4 設定画面に、 再起動 が表示されたら、それをクリックする

セキュリティ設定

■ セキュリティ

本機へのアクセス制限およびフィルタリングの設定がワンタッチでできます。この画面でセキュリティを設定すると、自動的にログが保存されます。保存されたログは、3文字の略語 (下表参照) として画面に表示されます。

● セキュリティ　ワンタッチ設定	セキュリティ上重要で頻度の高いファイアウォールを、簡単に設定することができます。工場出荷時設定では、最もセキュリティが高くなるように設定しています。必要な場合のみ変更してください。
・「プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。」	ログ保存時の表示：P-P WAN (インターネット) 側へ送信するパケットの宛先、またはWAN側から受信するパケットの送信元がプライベートIPアドレスの場合、本機へのアクセスを禁止します。一部のプロバイダー（CATV、フレッツ・スクウェアなど）では、プライベートIPアドレスでの接続をする場合があります。この場合には、対応する接続のアクセスを許可する（チェックをつける）か、双方向アクセス禁止のチェックをはずしてください。
・「NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。」	ログ保存時の表示：SHR Windowsでファイルやプリンタを共有する際に送受信されるパケットの双方向アクセスを禁止しています。
・「WAN側からの本機への不正なアクセスを禁止する。」	ログ保存時の表示：W-R WAN (インターネット）側から本機への不正なアクセスを禁止しています。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうち、本機との通信が確立していないものを破棄します。
・「WAN側からLAN側への不正なアクセスを禁止する。」	ログ保存時の表示：W-L WAN (インターネット）側からLAN（ホーム）側への不正なアクセスを禁止します。WAN側から送信されてくるTCPパケットのうち、LAN側の端末との通信が確立していないものを破棄します。

つづく

● ステルスモードの設定	ログ保存時の表示：STL WAN (インターネット) 側から本機の本体へのPingなどに応答しない設定をしています。応答しないため、Pingなどによる攻撃先の存在確認から逃れることができます。UDP/TCPポートスキャンにも応答しません。

セキュリティを高めるためには、ソフトウェアなどの適切な運用およびバージョンアップが必要です。

<各セキュリティ機能の優先順位>

本機はインターネット上のさまざまな不正アクセスに対応するために、以下のセキュリティ機能を装備しています。

【優先順位上位順】

・フィルタリング（☞ 73ページ）
・セキュリティワンタッチ設定（☞ 71ページ）
・ステルスモード（☞ 上記参照）

これらの機能は上から順に実行されます。条件に一致した時点でパケットの通過や破棄を決定します。

DMZ機能（☞ 70ページ）を利用している場合、DMZ端末に関係するパケットには、セキュリティ機能は実行されません。

■ フィルタリング

IPアドレス、ポート、プロトコルの条件を指定することで、受信したIPパケットを通過、または遮断することができます。条件を適切に設定することで、セキュリティ対策として使用することができます。エントリNo.の小さい順からフィルタリングの処理が行われます。フィルタリングの各項目の説明については、74ページを参照してください。

1 設定画面上の フィルタリング設定 をクリックする

フィルタリング設定条件

No.	対象接続	タイプ	方向	送信元		宛先		プロトコル	ログ出力
				IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		
追加									

フィルターNo.をクリックすると、各設定画面が開き、更新・削除ができます。
デフォルト設定の説明は、こちらを参照ください。
"BB-HG2000"はBB-HG2000自身、"*"はすべてのアドレス/ポートが対象です。

注:オレンジ色で表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

優先順位の変更(エントリの移動)

エントリの移動: 番エントリを 番エントリへ移動する。 移動

保 存 戻 る

2 「現在の設定」で、 追加 をクリックする

3 必要項目を設定し、 追加 をクリックする

4 設定を終えたら、 保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、 再起動 が表示されたら、それをクリックする

- フィルタリング設定は、設定を終えたら必ず 保存 をクリックしてください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

つづく

拡張機能

No.	エントリNo. に1～64の値を入力します。エントリNo. の小さい順にパケットフィルタリングの処理を行います。すでに登録されている場合は、そのエントリに上書きされます。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。“＊”を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP/Static接続が対象となります。
タイプ	許可（条件が一致すれば通す）、禁止（条件が一致すれば破棄する）のどちらかを選びます。
方向	W→L（WANからの受信時にフィルタリング）か L→W（WANへの送信時にフィルタリング）を選びます。
送信元IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスを設定します。 ● IPアドレスを1つだけ指定したい場合は、そのIPアドレスを上の欄に入力します。 ● IPアドレスの範囲を指定したい場合は、上の欄に小さいIPアドレスを入力し、下の欄に大きいIPアドレスを入力します。例えば192.168.0.3から192.168.0.10までのIPアドレスを指定したい場合は、上の欄に192.168.0.3を入力し、下の欄に192.168.0.10を入力します。 ● 上の欄に＊を入力するとすべてのIPアドレスが対象になります。
送信元ポート	フィルタリングするパケットの送信元ポート番号を設定します。 ● ポートを1つだけ指定したい場合は、上の欄にそのポート番号を入力します。 ● ポートの範囲を指定したい場合は、上の欄に小さいポート番号を入力し、下の欄に大きいポート番号を入力します。例えば2000から3000までのポートを指定したい場合は、上の欄に2000を入力し、下の欄に3000を入力します。 ● 上の欄に＊を入力するとすべてのポートが対象になります。
宛先IPアドレス	フィルタリングするパケットの宛先のIPアドレスを設定します。入力の規則は送信元IPアドレスと同じです。
宛先ポート	フィルタリングするパケットの宛先のポート番号を設定します。入力の規則は送信元ポートと同じです。 （注）ポート60000－60119は本機で使用されています。
プロトコル	データを送受信する際のプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、TCPEST、TCPFINの中から選びます。 TCPESTはTCPセッションを確立するときに送信されるパケットを示します。 TCPFINはTCPセッションを終了するときに送信されるパケットを示します。
ログ出力	パケット情報の記録を一時的に保存し、「フィルタリングログ」画面で表示する／しないを設定できます。表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

■ フィルタリングの項目を修正または削除するには

1 設定画面上の フィルタリング設定 を
クリックする

2 フィルタリング設定の一覧から、修正または
削除する項目のNo. をクリックする

3 設定項目を修正し、 変更 をクリックする
削除するには 削除 をクリックする

修正した内容を元の状態に戻すには、 取り消し
をクリックしてください。

4 設定を終えたら、 保存 をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、 再起動 が表示されたら、それ
をクリックする

データ入力欄には、スペースを入れないでください。

■ フィルタリング項目の優先順位を変更するには

エントリNo. の小さい順から、パケットフィルタリングの処理を行います。パケットフィルタリング項目の優先順位を変更するには、フィルタリング設定画面の「優先順位の変更」で、移動する項目のエントリNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリNo. を右の入力欄に入力して、 移動 をクリックしてください。
その後、 保存 をクリックし、設定画面に 再起動 が表示されたら、それをクリックしてください。

オプション設定

オプション設定画面では、LAN (ホーム) 側の設定やWAN (インターネット) 側にアクセスするための詳細な設定を行います。オプション設定は、特に変更が必要な場合のみ行ってください。オプション設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1 設定画面上の **オプション設定** をクリックする

それぞれの入力欄については、次ページを参照してください。

2 画面の上にある設定項目を選ぶ

3 データ入力欄に設定値を入力する

元の設定に戻すには、**取り消し** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

- オプション設定を変更した場合、本機に接続しているパソコンの設定を行い、パソコンを再起動してください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

■ データ入力欄について

<LAN（ホーム）側IPアドレス設定>

LAN(ホーム)側IPアドレス設定

IPアドレス(LAN側)	192.168.0.254
サブネットマスク	255.255.255.0
ウェブサーバーのポート番号	80

IPアドレス（LAN側）	LAN（ホーム）側のIPアドレスを入力できます。標準設定は、192.168.0.254です。IPアドレスは、DHCP設定での「利用可能なアドレス範囲」以外で設定してください。
サブネットマスク	LAN（ホーム）側のサブネットマスクを入力します。
ウェブサーバーのポート番号	ウェブサーバーのポート番号を入力します。

<DHCPの設定>

DHCPの設定

DHCPサーバー	◉ 使用する ○ 使用しない
利用可能な アドレス範囲	192.168.0.1 – 192.168.0.128

DHCPサーバー機能を使用することにより、LAN（ホーム）側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。

DHCPサーバー	LAN（ホーム）側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。 標準設定は、**「使用する」**になっています。LAN（ホーム）側に接続されているすべての機器に手動でIPアドレスを設定する場合は、**「使用しない」**を選びます。DHCPサーバーの設定を変更した場合は、それぞれのパソコンのIPアドレスの設定を変更してください。
利用可能なアドレス範囲	DHCPサーバー機能を使用する際は、データ入力欄にプライベートIPアドレスの範囲を入力します。入力範囲は連続した最大128個の値です。特に必要ない限りは変更する必要はありません。

つづく

＜DHCPスタティック設定＞
DHCPサーバー機能を使うとき、パソコンのMACアドレスを登録することにより、パソコンに割り振るIPアドレスを固定することができます。

No.の 追加 をクリックすると、右の画面が表示されます。

◉ 有効　○ 無効
IPアドレス(LAN側)
MACアドレス

有効／無効	「有効」または「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリテーブルは、テーブル設定したMACアドレスを持つパソコンを、テーブルで設定したIPアドレスに固定します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
IPアドレス（LAN側）	該当するパソコンの固定したいIPアドレスを入力してください。
MACアドレス	該当するパソコンのネットワークカードのMACアドレスを入力してください。必ず、半角数字と半角英字の A ～ F またはa ～ f を2文字ずつ、半角の「:」で区切って“01:23:45:ab:cd:ef”のように入力してください。

拡張機能

<PPPoE設定>

PPPoEを利用してプロバイダーと接続する場合、PPPoEの接続を開始、または停止することができます。メインセッション、サブセッションの接続方法を選んでください。プロバイダーとの契約で、インターネットアクセスの利用料金が従量制の場合は、**「手動接続」**を選んでください。

「PPPoE」をクリックすると、右の画面が表示されます。

常時接続	電源が入っている間は常に接続されます。これが標準設定となっています。PPPoE接続画面から手動で切断ができます（☞ 87ページ）。
手動接続	PPPoE接続は、PPPoE接続画面で **接続** を選んだ場合にのみ接続されます（☞ 87ページ）。PPPoEの接続を切断するには、PPPoE接続画面上で **切断** をクリックしてください。

<DNSリレー>

LAN (ホーム) 側に接続しているパソコンのIPアドレスを固定している場合などは、インターネットに接続するために、パソコンにDNSサーバーアドレスを入力する必要があります。DNSリレーはこの面倒な入力作業を省略します。DNSリレーにより本機は、LAN (ホーム) 側のパソコンに対して自身をDNSサーバーとして通知します。LAN (ホーム) 側からのDNSの問い合わせに対しては、本機がWAN (インターネット) 側の指定のDNSサーバーに代理で問い合わせをします。そして、問い合わせで得た回答をLAN (ホーム) 側のパソコンに返します。

「DNSリレー」をクリックすると、設定画面が表示されます。

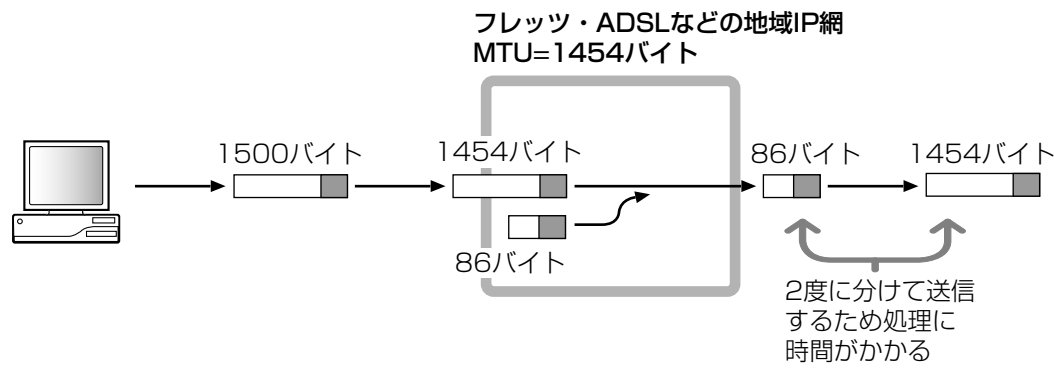
- PPPoEマルチセッションを利用する場合は、必ずDNSリレーを使用してください。
- LAN (ホーム) 側にDNSサーバーを接続している場合は、DNSリレーを使用しないでください。

使用する	本機をDNSサーバーの代理としてパソコンと通信します。 標準設定は「使用する」になっています。 パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンに本機のIPアドレス192.168.0.254を入力します。
使用しない	DNSリレー機能が働きません。パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンにDNSサーバーのアドレスを入力します。

拡張機能

<MTUサイズ>

MTUとは、送信できるパケットの最大長を言います。MTUの値が大きければ、１回に転送できる転送量が大きくなります。しかし、フレッツ・ADSLなどを使用するときに、MTUの値が大きすぎると、パケットが2回に分けられて送信されます。その結果、転送速度が低下します。通常は最適なMTU値になるように本機が自動調整します。変更が必要な場合のみMTU値を変更してください。

「MTUサイズ」をクリックすると、設定画面が表示されます。

MTUの設定によっては、通信速度が極端に低下する場合があります。

<ダイナミックルーティング>

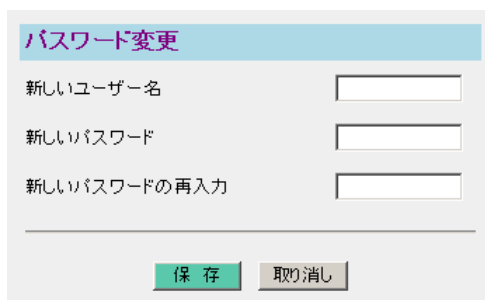
RIP (IPの経路情報) をWAN (インターネット) 側→LAN (ホーム) 側に送信する／送信しないと、LAN (ホーム) 側→WAN (インターネット) 側に送信する／送信しないを設定します。

「ダイナミックルーティング」をクリックすると、設定画面が表示されます。

LAN (ホーム) 側送信設定	LAN (ホーム) 側のRIP対応機器に対して、本機が保持する経路情報を「**送信する／送信しない**」を設定します。標準設定では「**送信する**」になっています。
WAN(インターネット) 側送信設定	経路情報をWAN (インターネット) 側に送信すると、LAN (ホーム) 側情報が外部から見えることになります。セキュリティを確保するために通常は**「送信しない」**に設定します。

拡張機能

<UPnP CP>

UPnP CPを使用すると、本機を使用して他のUPnP対応ルーターを制御することができます。この機能を持つ機器をCP(コントロールポイント)と呼びます。UPnP CPを使用し、本機WAN側にUPnP対応ルーター(以下、上位ルーター) が接続されていると、本機LAN側に接続された機器のUPnP対応アプリケーションが利用できるようになります。

- 上位ルーターがUPnP完全対応でない場合は、利用できないことがあります。
- 上位ルーターにWANからLANへの通信をフィルタリングする設定がなされている場合には、本機のカメラモニター画面および本機LAN側に接続されたカメラに対してインターネット側からアクセスできないことがあります。上位ルーターのフィルタリング設定の変更が必要です。
- WAN側に、LANと重なるネットワークを設定しようとする場合には警告画面が表示されます。正常に通信できない場合があるためです。WAN側の通信を行うにはLANの設定を変更しなければなりません。“はい”を選択して、LANの設定を“推奨ネットワーク”に変更してください。推奨ネットワーク以外の設定に変更する場合には、“いいえ”を選択し、オプション設定画面でLAN（ホーム）側アドレス設定とＤＨＣＰ設定を変更してください。ポートフォワーディングおよびフィルタリングを設定している場合には、これらも変更してください。
- 上位ルーターのウェブサーバーがポート番号80番を使用している場合、本機ウェブサーバーのポート番号を80番以外 (例：8080番) に設定してください。(☞ 77ページ) これによりインターネットから本機のカメラモニター画面にアクセスするときは、上位ルーターのWAN側IPアドレス：8080で可能となります。

パスワード変更

設定画面へアクセスするための共用パスワードを変更します。

1 設定画面上の パスワード変更 をクリックする

2 **新しいユーザー名**入力欄に新しいユーザー名を15桁までの半角英数字で入力する

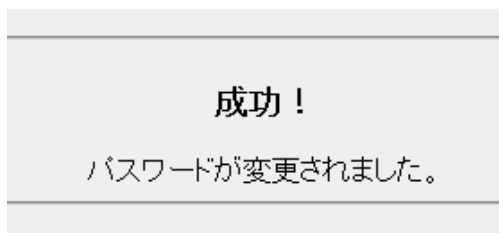
3 **新しいパスワード**入力欄に新しいパスワードを15桁までの半角英数字で入力し、確認のため、**新しいパスワードの再入力**欄に再度新しいパスワードを入力する

- **新しいパスワードの再入力**欄に入力する際は、コピー・貼り付け機能を使わないでください。
- 大文字、小文字を区別してユーザー名とパスワードを入力してください。

4 保存 をクリックする

- パスワードの変更が終了したら、右の画面が表示されます。

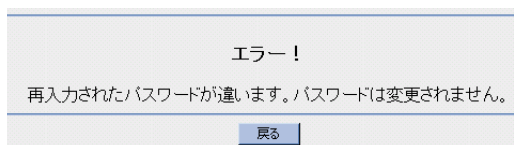
成功！

パスワードが変更されました。

- 入力されたパスワードがまちがっていると、右の画面が表示されます。

エラー！

再入力されたパスワードが違います。パスワードは変更されません。

戻る

つづく

5 **ネットワークパスワードの入力**ダイアログボックスが表示されたら、**ユーザー名**と**パスワード**欄に新しいユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックする

設定したユーザー名とパスワードを忘れてしまった場合
CLEAR SETTINGボタンを押して本機の初期化を行ってください。(☞ 94ページ)
設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。もう一度ユーザー名とパスワードを設定しなおしてください。

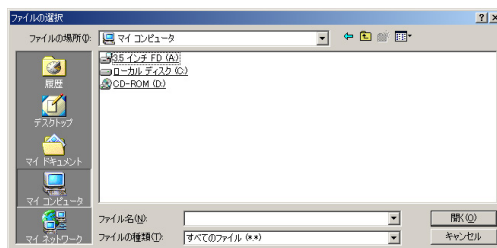
バージョンアップ

新しいファームウェアファイルをインストールすることができます。最新ファームウェアファイルは、パナソニックウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/) から入手することができます。

バージョンアップ機能を使う前に、パソコンにファームウェアファイルをダウンロードしてください。
詳細は、ウェブサイトの説明をお読みください。

1 設定画面上の バージョンアップ をクリックする

2 ファームウェアファイルを選ぶために、 参照... をクリックする

ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。

3 ファイルの一覧からインストールしたいファームウェアファイルを選び、 開く をクリックする

選んだファイルがバージョンアップ設定画面の**ファイル名**欄に表示されます。

つづく

4 開始 をクリックする

バージョンアップを行います。

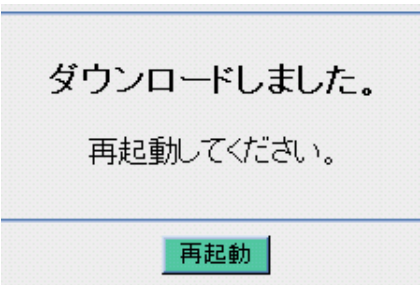
バージョンアップ中は絶対に電源を切らないでください。更新中に電源を切ると正常に動作しなくなります。

- バージョンアップが終了すると、右の画面が表示されます。
- バージョンアップされなかったときは、エラーメッセージが表示されます。
（下記表を参照してください。）

5 再起動 をクリックする

ダウンロードしました。

再起動してください。

再起動

- バージョンアップ後、初期化を必要とする場合があります。詳細はパナソニックウェブサイトを参照してください。初期化はCLEAR SETTING ボタン（☞ 94ページ）を押してください。
- DHCPサーバー機能（☞ 77ページ）を使っているときは、本機に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンを再起動してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対策
ファイル・サイズが不適当です。CRCエラーが生じました。	選択したファームウェアファイルは壊れています。http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/からダウンロードして入手したファームウェアファイルの場合、再度、ダウンロードしてください。
選択したファイルは、正しいファイルではありません。ファイルをもう一度確認してください。	選択されたファームウェアファイルは、本機には使えません。適切なファイルを選んでください。ファイルに添付されている説明書（Readme.txtなど）を参照して、本機のハードウェアバージョンに合っているか確認してください（☞ 89ページ）。合っていないときは、ハードウェアバージョンに合う最新版のファームウェアファイルを http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/ より入手してください。
メモリーが足りません。	本機の内蔵メモリーが処理負荷のため少なくなっています。本機を再起動した後、再度バージョンアップを行ってください。

バックアップ

各種設定ファイルのバックアップと、バックアップしたファイルの復元ができます。

■ 設定ファイル作成

設定ファイルバックアップ

バックアップファイルの作成

1 設定画面上の［バックアップ］をクリックする

2 「バックアップファイルの作成」をクリックする

ダウンロードのウィザード画面が表示されます。

3 保存する場所とファイル名を指定して保存する

■ 設定ファイル復元

1 設定画面上の［バックアップ］をクリックする

2 **復元させるファイルを選ぶために、［参照...］**をクリックする

ファイルの選択（Windows）ダイアログボックスが表示されます。

3 ファイルの一覧から復元させるバックアップファイルを選び、［開く］をクリックする

選んだファイルが設定ファイル復元設定画面のファイル名欄に表示されます。

4 ［復元］をクリックする

5 ［再起動］をクリックする

再起動されます。

管理

再起動

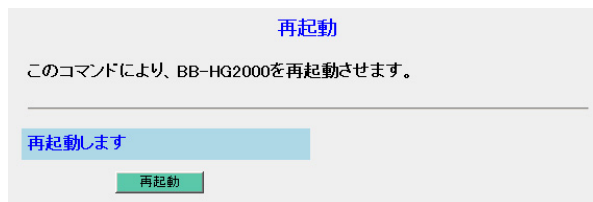
再起動します。このとき、本機の設定内容は保存されています。

1 設定画面上の **再起動** をクリックする

再起動

このコマンドにより、BB-HG2000を再起動させます。

再起動します

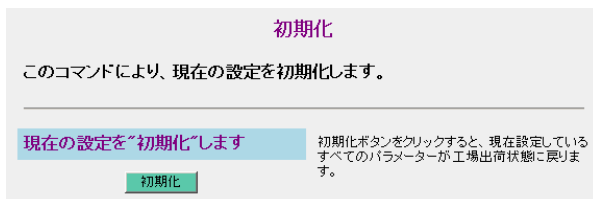
再起動

2 **再起動** をクリックする

再起動されます。

DHCPサーバー機能（☞ 77ページ）を使っているときは、本機に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンも再起動してください。

初期化

すべての設定値を初期化します。設定値は、工場出荷時に設定されていた内容（標準設定値☞ 104ページ）に戻ります。

1 設定画面上の **初期化** をクリックする

2 **初期化** をクリックする

すべての設定値が初期化されます。

DHCPサーバー機能（☞ 77ページ）を使っているときは、本機に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンも再起動してください。

PPPoE接続 / 切断

PPPoEの接続コマンドによって、プロバイダーへのPPPoE接続を手動で切断または接続することができます。

＜PPPoE接続を行う場合＞

1 設定画面上の [PPPoE接続/切断] をクリックする

右の画面が表示されます。

2 PPPoE接続を開始するには、各セクションの [接続] をクリックする

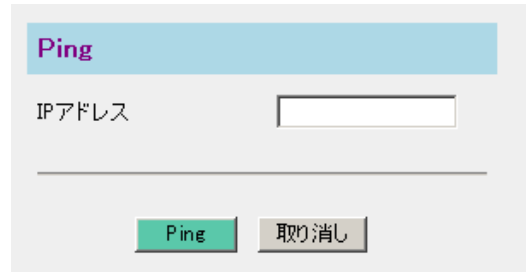
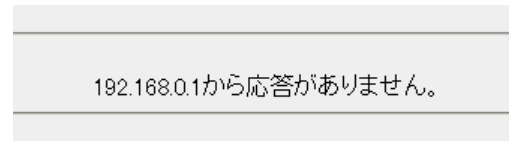
＜PPPoE接続を切断する場合＞

1 設定画面上の [PPPoE接続/切断] をクリックする

右の画面が表示されます。

2 接続を切断するには、各セクションの [切断] をクリックする

- このコマンドは、PPPoEの接続形態の種類（常時接続または手動接続）に関係なく使用できます。
- WAN (インターネット) 側からは、PPPoEの切断はできません。

セッション・キープ・アライブ機能について

本機はセッション・キープ・アライブ機能を持っています。PPPoE接続の常時接続モードの場合に、プロバイダーのサーバーとの接続が何らかの理由で切断したときに、自動的に接続を試みる機能です。本機のセッション・キープ・アライブ機能は次の特徴を持っています。

- 常時接続モード時に有効になっています。手動接続モード時は、自動的に接続しません。
- 再接続を行うタイミングは、1分後、2分後、3分後と1分ずつ増えていき、それ以降は10分間隔で接続を試みます。

Ping

WAN (インターネット) 側、または、LAN (ホーム) 側のサイトや機器が、TCP/IPネットワークで本機と接続されているかどうか、確認することができます。正しく接続されている場合は、「成功!」のメッセージが画面に表示されます。

1 設定画面上の [Ping] をクリックする

2 接続されていることを確認したい機器やサイトのIPアドレス（例：192.168.0.1）を入力する

IPアドレス欄を空白に戻すには、[**取り消し**] をクリックする

3 [Ping] をクリックする

- 接続されている場合は、右の画面が表示されます。
- 指定IPアドレスからの応答がない場合は、右の画面が表示されます。

Pingを実行したサイトが接続されていても、サイトによってはPingを応答しない場合があります。この場合、「失敗」と表示されます。

情報表示

ステータス

「ネットワーク接続情報」と「UPnPポートマッピングテーブル」によって、本機のネットワーク接続に関する諸情報を表示します。

■ ネットワーク接続情報

機器IDやハードウェアとソフトウェアのバージョン情報などを見ることができます。この情報は、お客様ご相談センターに連絡するとき役にたちます。

1 本機の設定画面から情報表示の ステータス をクリックする

2 ステータス下部の「ネットワーク接続情報 」の 表示 をクリックする

■ UPnPポートマッピングテーブル表示

本機に登録したUPnPポートマッピング設定情報が表示されます。最大128件まで表示されます。また、本機を再起動するとUPnP ポートマッピング登録情報は消去されます。
UPnPポートマッピング設定情報は次の手順で確認することができます。

1 本機の設定画面から情報表示の ステータス をクリックする

2 ステータス下部の「UPnPポートマッピングテーブル」の 表示 をクリックする

つづく

情報表示

・表示項目について

登録されたUPnPポートマッピングの設定情報

● 登録件数	UPnPポートマッピングの最大登録数は128件です。 以下、2つの状態を示します。 1 「アドレス変換」で「使用する（UPnP対応)」を選択している場合、「登録件数：現在の登録件数/128」が表示されます。 2 「アドレス変換」で「使用する（UPnP対応)」を選択していない場合、「登録件数：- - /- -」が表示されます。
● UPnPポートが登録されてから、自動削除されるまでの時間	アドレス変換設定で登録したUPnPポート自動削除設定の値（無期限、1〜24時間）が表示されます。 注：登録日時から設定時間が経過すると、ポートが自動削除されます。
● 状態	ポートマッピングの設定が有効か無効かが表示されます。
● クライアント	クライアントのIPアドレスが表示されます。
● プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」または「UDP」が表示されます。
● 外部ポート	設定されたポート情報の外側（WAN側）のポート番号が表示されます。
● 内部ポート	設定されたポート情報のクライアント側のIPアドレスとポート番号が表示されます。
● リモートホスト	クライアントから通信相手を特定してポート追加要求された場合、相手のホストIPアドレスが表示されます。通信相手に制限がなければ、＊が表示されます。
● 有効期限（秒）	クライアントから登録UPnPポートに対して有効期限が設定される場合は、その有効期限が秒で表示されます。有効期限が設定されない場合は無期限と表示されます。
● 登録日時	クライアントがUPnPで登録アクセスしてきた日時が表示されます。 注：この時間は表示しているパソコンの現在時刻をもとに算出しています。表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整してください。
● 説明	アプリケーションから送られてくる情報が表示されます。

つづく

情報表示

<UPnPポートマッピングテーブル登録情報消去>

本機に登録したUPnPポートマッピングテーブルを強制的に消去することができます。テーブル削除ボタンを押すと、全てのUPnP ポートマッピングテーブルが消去されます。

UPnPポートマッピングテーブル登録の全消去は次の手順で行います。

1 UPnPポートマッピングテーブル画面で テーブル削除 をクリックする

テーブルが全削除された画面が表示されます。

- **Windows/MSN Messengerを終了してもUPnPポートマッピングが残ることがあります。それによりUPnPポートマッピング最大登録件数128件を越える登録がされた場合、その登録は無視され、正常にWindows/MSN Messengerが利用できなくなることがあります。その場合は、ポートマッピングテーブルを一度削除してください。**
- **Windows/MSN Messenger を起動している状態でUPnPポートマッピング登録情報を消去して接続が切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了後、起動し直してください。Windows/MSN Messengerをサインインし直すだけでは正常に動作しませんので注意してください。**

ログ表示

本機が取得している各種ログを表示します。

ログ日時はログをモニターするパソコンから算出しています。日時表示がおかしい場合は、パソコンの時計日時を確認、修正し、ログを再表示させてください。

再起動するとログ情報は消去されます。

■ フィルタリングログ

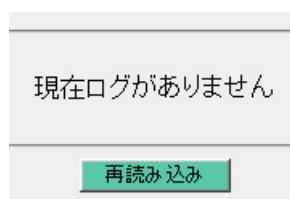
フィルタリング設定の画面で「ログ出力」にチェックをつけたエントリがパケットの処理を行うとパケットの情報を記録します。パケット情報は、対象接続、フィルター番号、ステータス、方向、送信元／宛先ポート番号などで、最新の情報（4000個まで）を見ることができます。

1 本機の設定画面から情報表示の ログ表示 をクリックする

2 「フィルタリングログ」の 表示 をクリックする

3 再読み込み をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、 ログ削除 をクリックしてください。

フィルタリングログのフィルター番号に、"P-P"、"SHR"、"W-R"、"W-L"、"STL"と表示されている場合、セキュリティワンタッチ設定によるフィルタリングの内容を表示しています。詳しくは71ページを参照してください。

情報表示

■ UPnPログ

ポートマッピングの追加、削除、失敗状況のログ情報を一覧で表示します。保存ログ件数は最大で100件です。100件以上の情報が発生した場合は、保存情報が古いものから上書きされます。1画面に表示できるログは100件です。

現在ログがありません

再読み込み

1 本機の設定画面から情報表示の [ログ表示] をクリックする

2 UPnPログの [表示] をクリックする

3 [再読み込み] をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、[ログ削除] をクリックしてください。

・**表示項目について**

● No	ログ番号です。最新のものから順に番号付けされます。
● 日時	本機がポートの操作を行った時間が表示されます。この時間は表示しているパソコンの現在時刻をもとに算出しています。表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整して、上記手順を繰り返してください。
● イベント	本機が行ったポート操作の内容が表示されます。表示される内容は以下のいずれかの項目です。 ・「ポート追加」：ポート情報が追加されました。 ・「ポート追加失敗」：ポートの追加に失敗しました。 ・「ポート削除」：ポート情報が削除されました。 ・「ポート削除失敗」：ポートの削除に失敗しました。 ・「手動一括削除」：登録されていた情報がユーザーによって削除されました。 情報表示の「ステータス」—UPnPポートマッピングテーブルの「テーブル削除」が行われた際に表示されます。 ・「自動削除（ユーザー設定）」：UPnPポート自動削除設定タイマーに設定された時間が経過したため削除されました。 ・「自動削除（アプリケーション）」：使用中のアプリケーションソフトに設定された時間が経過しました。

つづく

情報表示

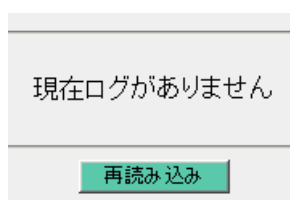
● クライアント側（IPアドレス、ポート）	設定されたポート情報のクライアント側IPアドレスとポート番号が表示されます。
● プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」もしくは「UDP」が表示されます。
● 外部ポート	設定されたポート情報の外側（WAN側）のポート番号が表示されます。

■ PPPoE接続／切断ログ

PPPoE接続における接続・切断及び認証のログを表示します。接続ログの場合は、接続した際のIPアドレスが確認できます。1画面に記録できるログは256個です。1024個以上のログがある場合は、画面下部に記録されているページ番号を選択し、目的の情報を表示してください。

1. 本機の設定画面から情報表示の［ログ表示］をクリックする
2. PPPoEの切断／接続ログの［表示］をクリックする

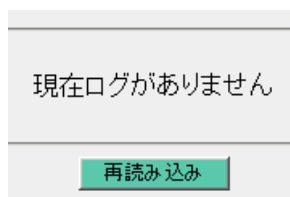
現在ログがありません

再読み込み

■ みえますねっとログ

みえますねっととサーバーとの通信のログを表示します。ログは250個毎に5グループに分割されています。最新のログから順に表示されており、ログ満杯時には、古いログから削除され、新しいログが上書きされていきます。

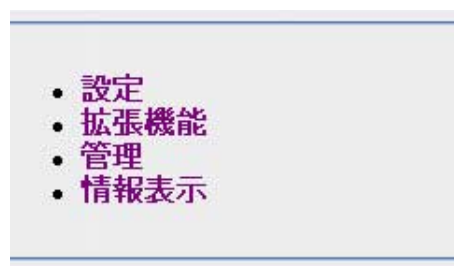
1. 本機の設定画面から情報表示の［ログ表示］をクリックする
2. みえますねっとログの［表示］をクリックする

現在ログがありません

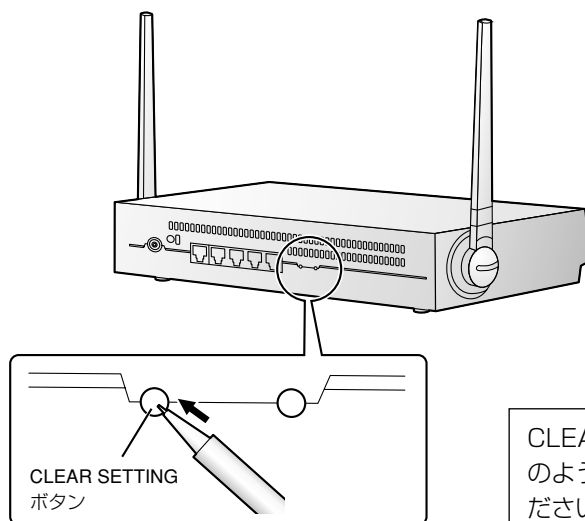
再読み込み

ヘルプ

ヘルプ機能は、設定画面の各項目を説明しています。

1. 設定画面上の［ヘルプ］をクリックする
2. 調べたい項目を選ぶ

- 設定
- 拡張機能
- 管理
- 情報表示

設定画面上の項目をクリックすることでもヘルプを参照できます。

初期化

本機の背面にCLEAR SETTINGボタンがあります。このボタンは初期化するときに押します。

初期化

パスワード（☞ かんたんガイド）を忘れたり、設定値を工場出荷時の状態（標準設定値 ☞ 104ページ）に戻すときは、CLEAR SETTINGボタンを1秒間押し続けてください。

- CLEAR SETTINGボタンを押すと、設定した内容は消去され標準設定値になります。
- DHCPサーバー機能（ ☞ 77ページ）を使うときは、本機に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンを再起動してください。

再起動

POWERインジケーターが赤く点灯した場合は（☞ 「ご使用の前に／困ったときには」の8ページ)、本機を再起動してください。電源コンセントからACアダプターを抜き、もう一度差し込むと本機の設定内容を変更することなく再起動することができます。

DHCPサーバー機能（☞ 77ページ）を使うときは、本機に接続しているLAN (ホーム) 側のすべてのパソコンを再起動してください。

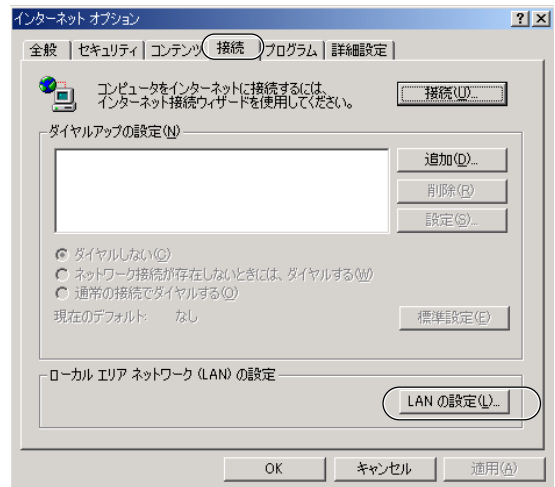
プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

プロバイダーによっては、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合があります。
プロキシサーバーを経由する場合は、設定画面にアクセスすることはできません。次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

次の手順は、Internet Explorer 5.5を使った場合です。

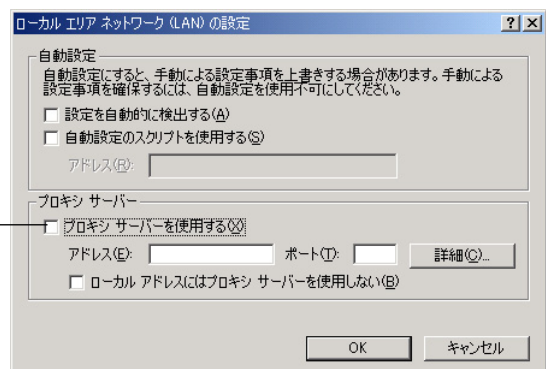
1 ウェブブラウザを起動する

2 **「ツール」**メニューから**「インターネット オプション」**を選ぶ

3 **接続**タブをクリックする

4 LAN の設定 をクリックする

5 **ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定**ダイアログボックスで、**「プロキシ サーバーを使用する」**のチェックボックスを確認する

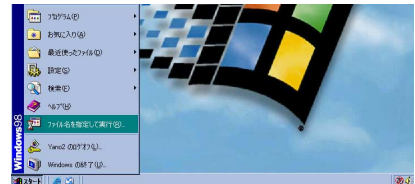
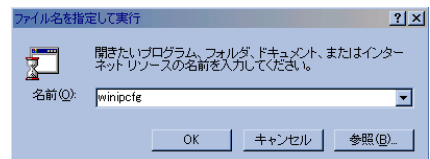
- **チェックボックスがチェックされていたら、** チェックをはずして OK をクリックしてください。
- **チェックボックスがチェックされていなかったら、** キャンセル をクリックし設定を終了してください。

チェックボックスがチェックされていないことを確認してください。

パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

各パソコンから本機の設定画面にアクセスできない、またはネットワーク上の他のパソコンと通信できない、などの場合には、各パソコンのIPアドレスの設定に問題がある可能性があります。以下の手順に従ってIPアドレスの設定を確認してください。

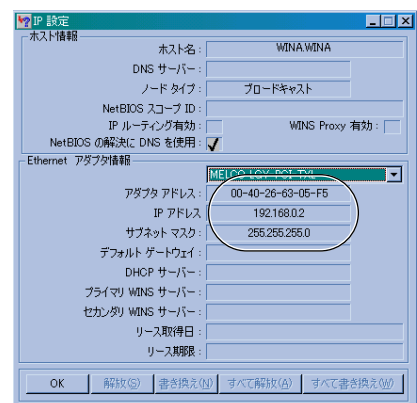
Windows 98/Meの場合

以下の手順は、Windows 98の場合です。

1 スタート メニューから**「ファイル名を指定して実行」**を選ぶ

2 **名前**欄に**winipcfg**と入力し、 OK をクリックする

3 IPアドレスを確認したいネットワークカード(Ethernetアダプタ) を選ぶ

4 詳細 をクリックする

IP アドレス欄を見て、設定されているIPアドレスを確認してください。
アダプタ アドレス欄を見て、ネットワークカード (Ethernetアダプタ) のMACアドレスを確認してください。

つづく

パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

「IPアドレスを自動的に取得」を設定していて、「169.254.XXX.X」などの値が表示された場合は、IPアドレスが正しく取得できていない可能性があります。そのような場合は、次の手順に従ってIPアドレスを更新してください。

1 解放 をクリックする

自動取得していたIPアドレスが解放されます。

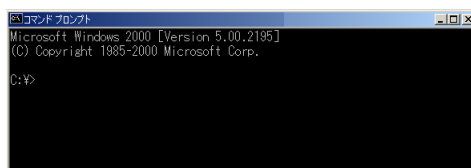
2 書き換え をクリックする

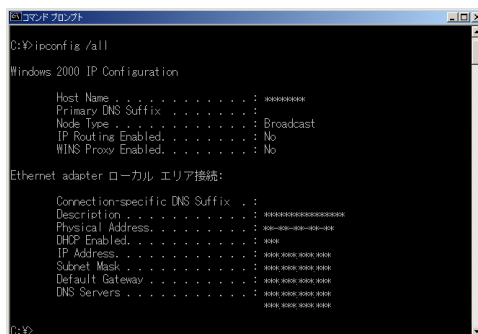
新しいIPアドレスが割り振られます。

3 OK をクリックする

Windows XP/2000の場合

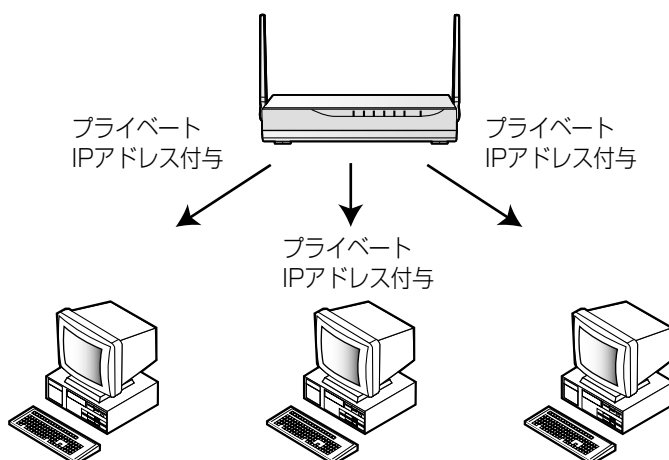
1 スタート メニューから **「すべてのプログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」** を選ぶ

Windows 2000の場合は、 スタート メニューから **「プログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」** を選んでください。

2 **コマンドプロンプト**の後に**ipconfig/all**と入力する

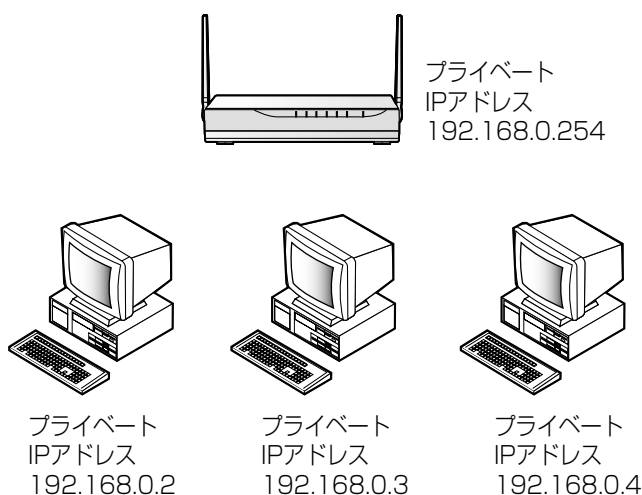
- **ipconfig/renew_all**について
  すべてのネットワークカードのDHCP構成パラメーターを更新します。
- **ipconfig/release_all**について
  すべてのネットワークカードのDHCP構成パラメーターを解放します。

ipconfigコマンドの説明は、コマンドプロンプトの後にipconfig/？と入力すると表示されます。

パソコンのIPアドレスを固定するには

本機を含めたTCP/IPネットワークのすべてのパソコンには、それぞれ固有のIPアドレスの設定が必要です。
本機では、DHCPサーバー機能を使って、LAN (ホーム) 側の各パソコンにIPアドレスを自動で割り振ることができます（標準設定)。この場合、本機が各パソコンにIPアドレスを割り振ったり、再割り振りするため、各パソコンのIPアドレスは固定していません。

本機がIPアドレスを割り振るネットワーク（標準設定)

これに対し、本機のDHCPサーバー機能を無効にして、LAN側の各パソコンのプライベートIPアドレスを固定することができます。この場合、あらかじめ各パソコンに固有のIPアドレスを設定する必要があります。

IPアドレスが固定されたネットワーク（オプション設定)

本機のDHCPサーバー機能を使用せずに、プライベートIPアドレスを固定してネットワーク設定を行います。各パソコンに固有のプライベートIPアドレスを固定して設定する必要があります。各パソコンに固有のプライベートIPアドレスを設定した後に、本機を設定します。77ページを参照し、オプション設定画面上のDHCPサーバー機能を無効にしてください。各パソコンの設定は、99、101ページの手順に従ってください。

パソコンのIPアドレスを固定するには

Windows 98/Meの場合

1 スタート メニューから **「設定」** を選び、**「コントロール パネル」** をクリックする

2 **「ネットワーク」** アイコンをダブルクリックする

Windows Meで **「ネットワーク」** アイコンが見つからない場合は、**「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」** をクリックしてください。

3 **ネットワーク**ダイアログボックスで、本機に接続しているネットワークカードに関連したTCP/IPを選び、 プロパティ をクリックする

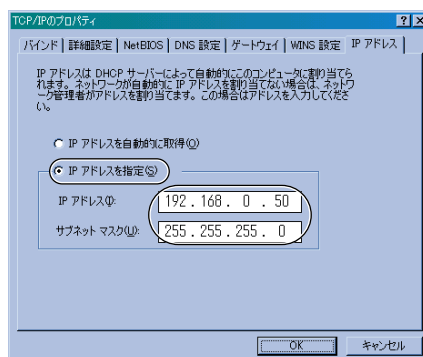
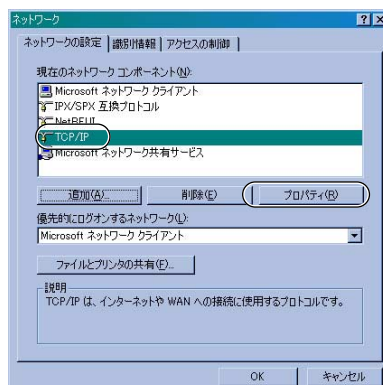
TCP/IPのプロパティダイアログボックスが表示されます。

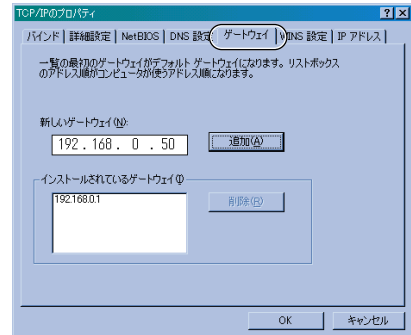
4 **TCP/IPのプロパティ**ダイアログボックスで、**IP アドレス**タブをクリックする

5 **「IP アドレスを指定」** を選ぶ

6 各パソコンのIPアドレス（例：192.168.0.50）とサブネットマスクを入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本機の設定画面にアクセスする場合は、本機のサブネットマスクと同じ値を入力してください。

つづく

パソコンのIPアドレスを固定するには

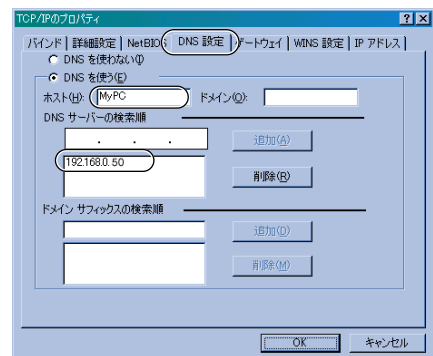
7 **ゲートウェイ**タブをクリックする

8 192.168.0.254（本機の標準設定IPアドレス）を**「新しいゲートウェイ」**のアドレス欄に入力し、 追加 をクリックする

9 192.168.0.254が**「インストールされているゲートウェイ」**のアドレス欄に入力されていることを確認する

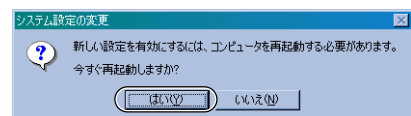
本機のIPアドレスを変更する場合は、**「インストールされているゲートウェイ」**のIPアドレスも変更してください。

10 **DNS 設定**タブをクリックする

11 **「DNS を使う」**を選ぶ

12 DNSサーバーアドレスを**「DNS サーバーの検索順」**のアドレス欄に入力し、 追加 をクリックする

13 任意のホスト名を入力し、 OK をクリックする

14 OK をクリックする

システム設定の変更ダイアログボックスが表示されます。

15 はい をクリックし、パソコンを再起動する

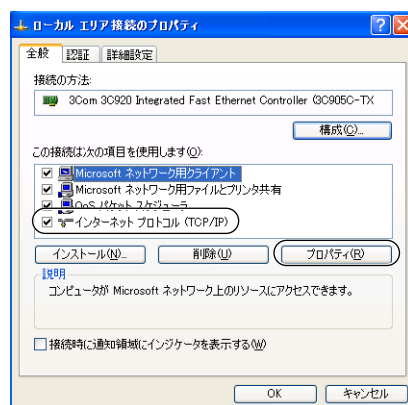
パソコンのIPアドレスを固定するには

Windows XP/2000の場合

1 スタート メニューの **「マイ コンピュータ」** から **「マイ ネットワーク」** を選び、**「ネットワーク接続を表示する」** を選ぶ

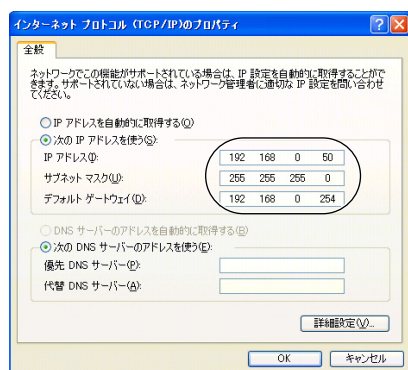
Windows 2000の場合は、**「マイ ネットワーク」** アイコンを右クリックし、**「プロパティ」** を選ぶ

2 本機が接続されている **「ローカル エリア接続 ...」** アイコンを右クリックし、 プロパティ を選ぶ

3 **「インターネット プロトコル(TCP/IP)」** を選び、 プロパティ をクリックする

4 **「次のIP アドレスを使う」** を選ぶ

5 各パソコンのIPアドレス(例:192.168.0.50)とサブネットマスクを入力し、**192.168.0.254**(本機の標準設定IPアドレス)を **「デフォルト ゲートウェイ」** の入力欄に入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本機の設定画面にアクセスする場合は、本機のサブネットマスクと同じ値を入力してください。

つづく

パソコンのIPアドレスを固定するには

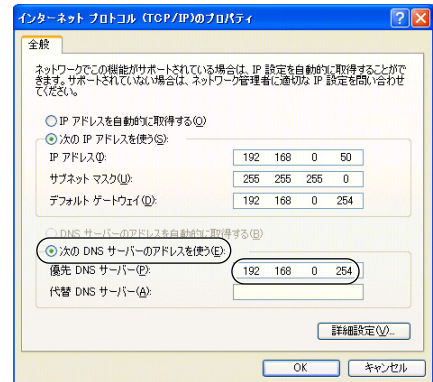
6 **「次の DNS サーバーのアドレスを使う」**をクリックする

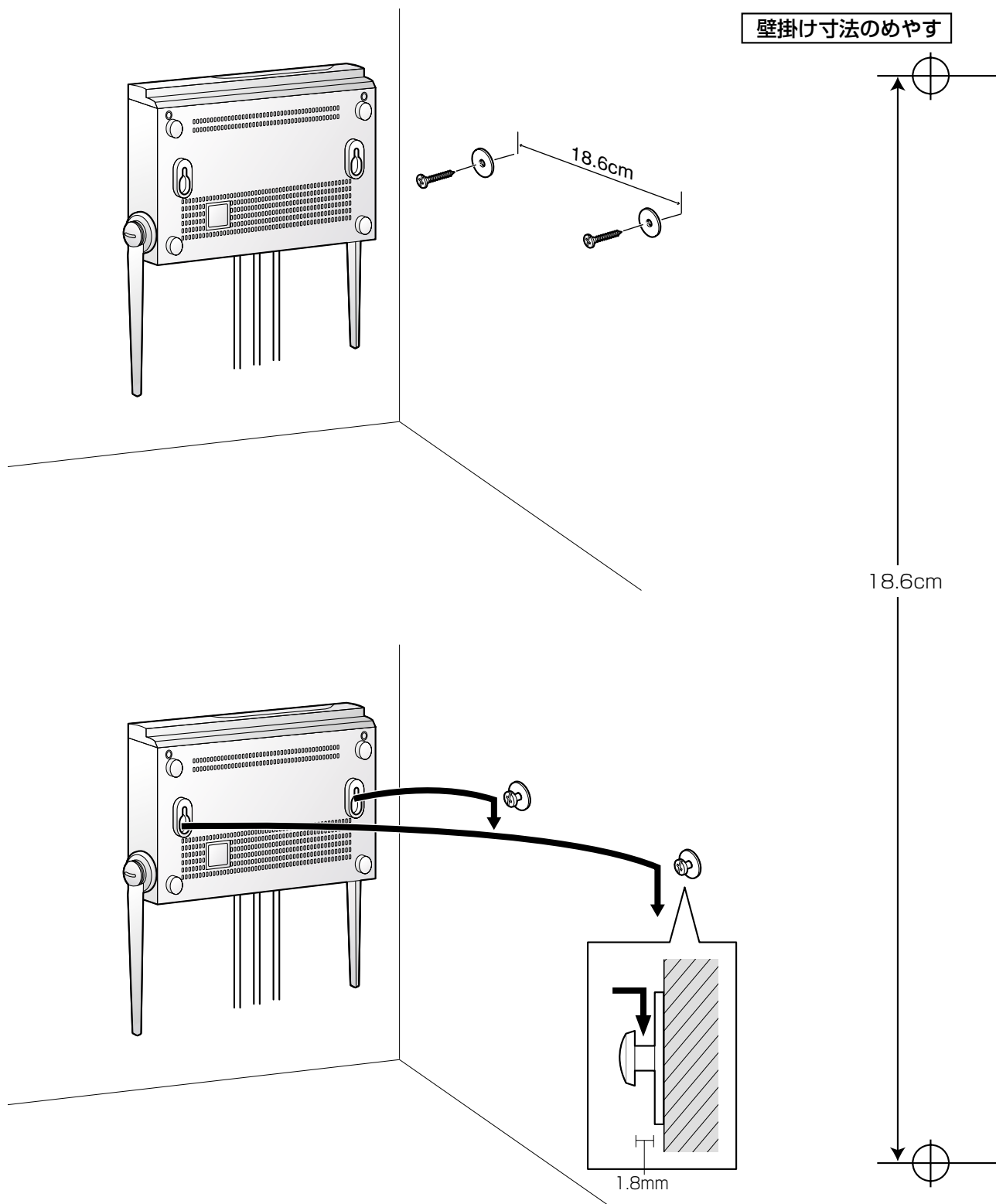
7 DNSサーバーのアドレスを入力欄に入力し、 OK をクリックする

8 閉じる をクリックする

Windows 2000の場合は、 OK をクリックしてください。

9 **「ネットワーク接続」**のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動する

Windows 2000の場合は、**「ネットワークとダイヤルアップ接続」**のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。

壁への取り付け

壁掛け寸法のめやすを使ってネジ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本機をネジにかけて、静かに下にすべらせる（壁掛け寸法のめやす☞このページの右側）

標準設定一覧

プロバイダー登録

プロバイダー登録モニター	No.1　DHCP接続 No.2　未登録 No.3　未登録 No.4　未登録

接続設定管理

WAN (インターネット) 側接続モード	DHCP/Static
プロバイダー設定	DHCP

カメラ設定

カメラ登録 カメラの自動登録機能の設定	使用する
カメラモニター画面配置 カメラモニター画面表示形式	カメラ名と静止画 (自動更新)
WAN (インターネット) 側アクセス制御 WAN (インターネット) 側アクセス制御 カメラモニター表示セッションの選択	フルアクセス メインのみ

無線設定

基本 SSIDの設定 SSID空白のクライアントの接続 通信チャンネル	本機底面に記載 禁止（SSID空白のクライアントの接続を禁止） 7
暗号化設定	有効 (128bit)
MACアドレスフィルタリング	使用しない

みえますねっと設定

みえますねっと設定	使用しない

つづく

標準設定一覧

アドレス変換

DHCP/Static接続 PPPoE接続 　メインセッション 　サブセッション UPnPポート自動削除設定 　タイマー DMZ機能	使用する (UPnP対応) 使用する (UPnP対応) 使用する (UPnP対応) 無期限 設定されていません

セキュリティ設定

セキュリティ 　セキュリティワンタッチ設定	 プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。 NetBIOS／ファイル共有／プリンタ共有／PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。 WAN (インターネット) 側からBB-HG2000への不正なアクセスを禁止する。
ステルスモード	BB-HG2000の存在をWAN (インターネット) 側から検知できないようにする。
フィルタリング 　フィルタリング設定条件	 設定されていません

つづく

標準設定一覧

オプション設定

LAN（ホーム）側IPアドレス設定 　IPアドレス 　サブネットマスク 　ウェブサーバーのポート番号	 192.168.0.254 255.255.255.0 80
DHCP設定 　DHCPサーバー 　利用可能なアドレス範囲 　DHCPスタティック	 使用する 192.168.0.1－192.168.0.128 無効
PPPoE 設定 　メインセッション 　サブセッション	 常時接続 常時接続
DNSリレー設定	使用する
MTUサイズ	1500バイト (DHCP/Static接続) 1492バイト (PPPoE接続)
ダイナミックルーティング設定 　LAN (ホーム) 側送信設定 　WAN (インターネット) 側送信設定	 送信する 送信しない
UPnP CP設定	使用する

用語解説

英字

CATV
Cable Televisionの略で、ケーブルテレビのことです。
最近では、このケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスを提供する会社が増えてきています。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)
各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報（IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど）を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

DMZ
DMZ (De-Militarized Zone) 機能とは、WAN (インターネット) 側から発信されたすべてのパケットを、LAN (ホーム) 側の特定のIPアドレスへ転送する機能です。この機能により、本機のLAN側のパソコンでウェブサーバーを運用したり、ネットワークゲームをすることができます。

DNS (Domain Name System)
ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。
ドメイン名では、例えば“panasonic.jp”などがあります。

イーサネット (Ethernet)
Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

IEEE802.11b
IEEE（米国電気電子学会）の無線LANの規格。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4GHz帯を使用する最高11Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。

IPアドレス
インターネット上のすべてのネットワークインターフェースは、IPアドレスによって識別されます。そのためTCP/IPを使用して通信を行うネットワークインターフェースには、固有のIPアドレスが必要です。

IPマスカレード
インターネットに接続しているネットワークで、一つのグローバルIPアドレスを複数のパソコンで共有する技術です。ネットワーク内でのみ使用するプライベートIPアドレスと、インターネット上で使用するグローバルIPアドレスを相互変換します。

LAN (Local Area Network)
フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

つづく

用語解説

MAC (Media Access Control) アドレス	イーサネットカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスを持つイーサネットカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
MTU (Maximum Transfer Unit)	MTUは、ネットワークにおいて1回の転送で送信できるデータの最大値を示します。送信する側が接続ごとに値を設定できます。送信側ホストが受信側ホストより大きいMTUを持っていた場合は、送信側が受信側のMTUに従ってデータを再分割して送信します。
Open System	IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Open Systemは、公開鍵暗号とも呼ばれています。
PPP (Point to Point Protocol)	公衆回線などを経由して2台のパソコンを接続するために開発されたプロトコルです。イーサネット上でユーザー名、パスワードでの認証機能や圧縮機能をサポートするだけでなく、複数のプロトコルを同時にサポートできます。
PPPoE	PPPをイーサネット上で利用するためのプロトコルです。PPPoEを使用するためには、別途PPPoE対応のルーターかPPPoEクライアントソフトが必要です。
PPPoEマルチセッション機能	フレッツ・ADSL、Bフレッツなどの複数のPPPoEセッションを利用する際に、複数のプロバイダーへ同時接続したり、フレッツ・スクウェアなどのインフォメーションサイトとプロバイダーへ同時接続することができます。
PPTP(Point to Point Tunneling Protocol)	インターネット上でVPN を実現するためのプロトコルの1つです。 PPTPではPPPをベースに、データの暗号化や認証、リンクの確立などの機能を持たせています。現在はWindows NT 4.0やWindows 2000に実装されています。
Shared Key	IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Shared Keyは、共有鍵暗号とも呼ばれ、メッセージの送信者と受信者が一組の鍵を共有し、それを用いてデータを暗号化、複合化します。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP（Transmission Control Protocol）とUDP（User Datagram Protocol）の2つです。FTP、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。

つづく

用語解説

Tナビ (T-navi)	ブロードバンド回線を使ったデジタルテレビ向けの生活情報ネットワーク・サービスです。
UPnP(Universal Plug and Play)	UPnPは、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnPに対応するアプリケーションには、MSN Messenger Ver.5.0 以降、Windows Messenger Ver.4.7 以降などがあります。UPnP Forum によって仕様が策定されています。
URL (Uniform Resource Locator)	インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。
ウェブサーバー	画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。 ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列（ワード）が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているので、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。
ウェブブラウザ	ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

つづく

用語解説

あ

アクセスポイント
インターネット・サービス・プロバイダーやパソコン通信に電話回線で接続する際に、接続できるサーバーのある場所や電話番号のこと。

インターネット
地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。
インターネット・サービス・プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。

か

グローバルIPアドレス
インターネットに接続された機器に一意に割り振られるIPアドレスです。インターネットの中での住所にあたり、インターネット上で通信を行うためには必ず必要です。

ゲートウェイ
ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター（ルーターなど）でネットワークのパケットの道先案内をします。
ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

さ

サブネットマスク
IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。
そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)
ポートフォワーディングとは、特定のポートあての通信を指定したポートへ転送することです。 ポートフォワーディングにより、インターネット側からホームネットワークへのアクセスも可能になり、ホームネットワーク上にウェブサーバー、メールサーバーなどを構築することができます。

静的NAT
ネットワーク内で使用するプライベートIPアドレスと、インターネット上で使用するグローバルIPアドレスを1対1で相互変換することです。

つづく

用語解説

た

ダイバーシティ
位置が違うところにふたつ以上のアンテナを設置し、受信状態のよいアンテナを選択して受信する方式のことです。

ダウンロード
遠隔地にある装置側からネットワークを使用しデータを自分側に持ってきて保存する作業をいいます。

チャンネル
無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。（全14チャネル）

ドメイン
インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

な

ネットワーク
情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。

は

パケット
通信データを一定の大きさに分割し、アドレスをつけて転送するときのデータの単位のことです。

ハブ
10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。
8ポートや4ポートなど、ポート数は様々です。

パスワード
ファイルやネットワークを利用する際に鍵の役目をする合言葉（文字や数字）です。ネットワークのセキュリティ上、ユーザー識別のためにあらかじめ言葉を登録します。登録されている言葉と一致しない場合は、ファイルやネットワークを利用することはできません。

フィルタリング（パケットフィルタリング）
ファイアウォールの一種で、フィルター機能を用いて、ネットワークパケットを選択的に転送する方式のことです。適切に設定すると、不要なパケットが外部に転送されるのを防ぎます。

ファームウェア
本機を動作させるプログラムです。本機ではフラッシュメモリーの中に格納されています。

ファイアウォール
インターネットを利用する際のセキュリティのひとつ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

物理アドレス
MACアドレスと同じ。

つづく

用語解説

プライベートIPアドレス

ネットワークに接続された機器に一意に割り振られるIPアドレスです。
ネットワーク内で自由に割り振ることができますが、そのままではインターネットを通じて通信を行うことはできません。プライベートIPアドレスしか持たない機器がインターネットで通信を行うには、グローバルIPアドレスを割り振られた機器にNATやIPマスカレードなどの手段によって中継する必要があります。プライベートIPアドレスは、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。ローカルネットワークの規模に応じてクラスを選び、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートIPアドレス（この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる）
クラス A	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ～ 10. 255. 255. 254
クラス B	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ～ 172. 31. 255. 254
クラス C	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ～ 192. 168. 255. 254

プロキシサーバー

プロキシサーバーは、コンピューターとインターネット間のセキュリティを強化したり、キャッシングによってアクセスを高速化するために使用されるサーバーです。

ブロードバンドレシーバー

ブロードバンド環境でテレビ番組ガイド (EPG) サービスを利用すると、携帯電話やパソコンから当社製DVDビデオレコーダーなどと接続して録画予約ができます。

ホスト

各種サービス (たとえば、電子メールの送受信など) に必要な処理のほとんどを行うコンピューターなどの総称として用いられています。

ポートフォワーディング

静的IPマスカレードと同じ。

ま

無線LANアダプター

デスクトップパソコンなどを接続して、無線端末として利用することができます。

仕　様

【本体】

項　目	仕　様
WANインターフェース	ポート数：　1 ポート コネクター形状：　8 ピンモジュラージャック（RJ-45） 物理インターフェース：　IEEE802.3 (10Base-T)、IEEE802.3u (100Base-TX)
LANインターフェース	ポート数：　4ポート コネクター形状：　8ピンモジュラージャック（RJ-45） 物理インターフェース：　IEEE802.3 (10Base-T)、IEEE802.3u (100Base-TX)
無線インターフェース	伝送方式：　DS-SS方式、半二重 通信速度：　11/5.5/2/1Mbps（IEEE802.11b準拠） 周波数範囲：　2412～2484MHz (中心周波数) チャンネル数：　14ch セキュリティ：　WEP64 / 128bit (暗号化)、SSID、MACアドレスフィルタリング
ユーザーインターフェース	CLEAR SETTINGボタン：　工場出荷時設定用 状態表示ランプ POWER：　通電／本体状態表示 WAN：　WAN リンク状態表示 LAN1～LAN4：　イーサネットリンク状態を表示 WIRELESS：　無線リンク状態を表示
電源	専用ACアダプター：AC100V　50/60Hz、DC 12V 電源コード長さ：1.8m
消費電力	最大約9W
外形寸法 （幅×奥行き×高さ）	約260(W)×150(D)×42(H)mm ※アンテナ収容状態
質　　量	約430g
動作環境	動作温度：　5℃～40℃ 動作湿度：　20%～85%（結露しないこと）
電波障害防止	VCCIクラスB

つづく

仕　様

【ACアダプター】

項　目	仕　様
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
定格出力	DC 12V 1A

【ソフトウェア】

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">仕　様</th></tr>
<tr><td>ルーター機能</td><td>プロトコル
PPPoEマルチセッション
PPPoE接続／切断
RIP
DHCPサーバー
DNSリレー（DNS代理応答）
IPパケットフィルタリング
アドレス変換方式</td><td>PPPoE / DHCP / Static
最大同時セッション数：2
手動接続/常時接続
あり（RIPv1）
あり（128クライアント設定可）
あり
あり（64設定）
IPマスカレード、静的IPマスカレード (ポートフォワーディング) 、静的NAT</td></tr>
<tr><td>無線端末機能</td><td>セキュリティ</td><td>WEP64/128bit/SSID/
MACアドレスフィルタリング</td></tr>
<tr><td>アクセス制限</td><td colspan="2">ID/Password</td></tr>
<tr><td>ウェブブラウザ設定</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td>ファームウェア
バージョンアップ</td><td colspan="2">あり</td></tr>
</table>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このホームネットワークステーションの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

付属のCD-ROMに入っている取扱説明書の中の「故障かなと思ったとき」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  [技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  [部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  [出張料] は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ホームネットワークステーション
品　番	BB-HG2000
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（バナは　365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

さくいん

英　字

あ

か

さ

た

は

つづく

さくいん

■ 本機は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本機を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検 **長年ご使用のホームネットワークステーションの点検を！**

こんな症状はありませんか？

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や変形、故障がある。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず**販売店に点検を**依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	BB-HG2000
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ブロードバンド＆ソリューション事業センター

〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PSQX2934YA KK0403RM1073